

「令和2年度 福祉職場の新任職員に関する実態調査」 (新任職員向け)

■ 実施のあらまし

(1) 目的

- (1) 新任職員が福祉の仕事に就いた際の特徴や課題等の実態を把握する。そのうち特に他業種からの転職者や専門的に福祉を学んでいない方等のいわゆる「未経験者」の特徴と、福祉分野の学びや就労の経験がある新任職員との違いを把握する。
- (2) あわせて、福祉施設・事業所が新任職員に関して期待することや、特に未経験者について感じていること、未経験者の採用、育成について配慮していること等を把握する。
- (3) 本調査結果や本会内の取組みから得られた現状分析をもとに、本会の今後の取組みを検討する。

(2) 実施時期

令和2年12月23日(水)～令和3年2月5日(金)

(3) 調査対象

現在の施設・事業所で就労3年未満の新任職員(補助業務を含み、福祉職の方)

(4) 実施方法

WEBフォームまたはFAXによる調査

(5) 回答状況

1,377か所

(6) 主な調査項目

- ・回答者自身の状況
- ・現在の職場に就職する前の状況
- ・現在の職場への就職直後の時期(入職時点からおよそ6か月頃まで)の回答者の状況
- ・現在の回答者の状況(6か月以上3年未満の職員対象)

調査のポイント

1 回答者について

- ・年齢は、20代が約59%と最も多く、次いで30代が16.7%
- ・性別は、69%が女性
- ・就労期間は、6か月～1年未満が約36%と最も多く、次いで1～2年未満が約30%
- ・職場の種別は、「児童養護施設」(約23%)、「保育所・こども園」(約17%)、「障害者福祉施設・事業所」(成人・知的) (約16%)
- ・職種は、介護職・支援員・保育士等が約86%
- ・就労形態は、約87%が正規職員
- ・約67%は正規雇用または非正規雇用での就労経験がある
- ・就労経験がある人が最も長く働いた経験がある業種は、「医療・福祉」(約47%)、「サービス業」(約10%)、「教育・学習支援業」(約9%)
- ・就労経験がある人が最も長く働いた経験がある職種は、「専門的・技術的職業」(約43%)、「サービスの職業」(約30%)、「販売の職業」(約11%)

回答者の約58%は、現在の福祉職場以外での福祉職場の就労経験はない

- ・約74%は福祉を学んだ経験がある

2 現在の職場に就職する前の状況について

- ・回答者が福祉の仕事に関心をもったきっかけは、「人と接する、関わるのが好き」(約45%)、「やりがいがある仕事に就きたいため」(約31%)、「福祉の知識・スキル・資格等への興味、関心」(約25%)
- ・回答者が現在の職場を就職先に選ぶ際に重視した点は、「勤務場所」(約52%)、「仕事の内容」(約47%)、「給与、福利厚生等の労働条件」(約45%)
- ・回答者が現在の職場へ就職する際に活用したのは、「当該職場のホームページ」(約21%)、「学校からの紹介や学校に掲示等されていた求人情報」(約20%)、「知人の紹介」(約16%)
- ・回答者が現在の職場で働き始めるまでに準備したことは、「施設見学や職場体験に参加した」(約44%)、「インターネットで福祉の仕事や職場について検索した」(約31%)、「福祉関連の資格取得に向けた勉強をした」(約25%)
- ・回答者が現在の職場への就職が決まってから働き始めるまでに不安だったことは、「職場の人間関係が良好か」(約57%)、「福祉の仕事が自分に合うかどうか」(約30%)、「職場が求めている働き方に知識、技術的に対応できるか」(約29%)

3 現在の職場への就職直後の時期のご自身について

- ・回答者の就職直後の福祉の仕事や職場に対する印象は、「プラス、ポジティブな印象」(約 44%)、「どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる」(45%)、「マイナス、ネガティブな印象」(約 11%)
- ・回答者の就職直後に感じていたことは、「利用者と接することが楽しい、やりがいがある」(約 81%)、「利用者の介護・介助・世話・支援等に抵抗がない」(約 79%)、「新たな経験ができていと新鮮に感じる」(約 77%)
- ・回答者が就職直後の時期に特に身につけるべきだと感じていたことは、「利用者への適切な接し方」(約 75%)、「利用者の持つ障害、病気等への理解」(約 59%)、「利用者それぞれの生活歴や利用者像の理解」(約 55%)

4 現在のご自身について

- ・回答者の現在の福祉の仕事や職場に対する印象は、「プラス、ポジティブな印象」(41%)、「どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる」(約 45%)、「マイナス、ネガティブな印象」(約 12%)
- ・回答者が現在感じていることは、「利用者と接することが楽しい、やりがいがある」(約 82%)、「利用者の介護・介助・世話・支援等に抵抗がない」(約 81%)、「理想、お手本となる、頼りになる先輩や管理職がいる」(73%)
- ・回答者が現在特に身につけるべきだと感じていることは、「利用者への適切な接し方」(約 66%)、「利用者の持つ障害、病気等への理解」(約 55%)、「利用やそれぞれの生活歴や利用者像の理解」(約 52%)
- ・回答者が現在、仕事に関する自己研鑽やキャリアアップに向けて取組んでいることは、「職場から案内される研修会等への参加」(約 49%)、「福祉や仕事に関連する書籍を読む」(約 37%)、「福祉系の資格取得に向けた学習」(約 23%)
- ・福祉職場で働き始める未経験の方にとって役立つと思うツールは、「福祉の仕事の基本的な視点や支援技術等に関する研修、セミナー」(約 60%)、「同法人で働く人との交流、情報交換」(約 52%)、「福祉の仕事の基本的な視点や支援技術等に関するハンドブック、リーフレット、本などの読み物」(約 41%)

1 ご回答者について

(1) ご自身の年齢（年代）を教えてください（単数回答）

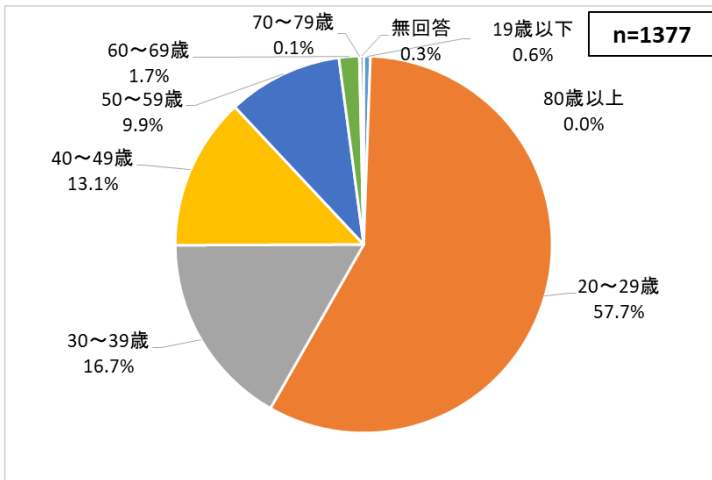


図1 回答者の年齢

表1 回答者の年齢

選択肢	回答数	%
19歳以下	8	0.6%
20～29歳	794	57.7%
30～39歳	230	16.7%
40～49歳	180	13.1%
50～59歳	136	9.9%
60～69歳	24	1.7%
70～79歳	1	0.1%
80歳以上	0	0.0%
無回答	4	0.3%
計	1377	100.0%

(2) ご自身の性別を教えてください（単数回答）

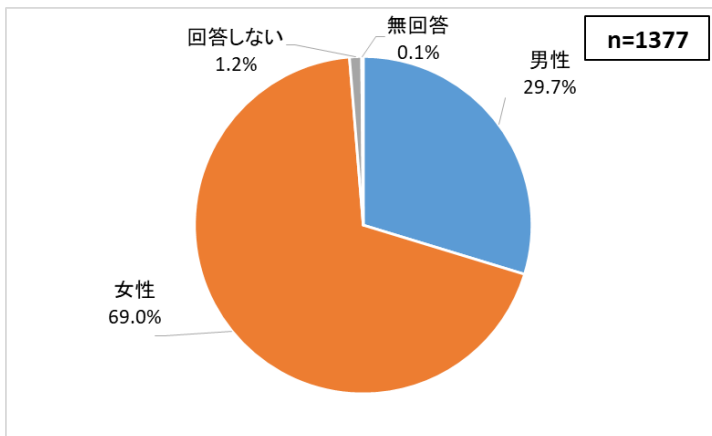


図2 回答者の性別

表2 回答者の性別

選択肢	回答数	%
男性	409	29.7%
女性	950	69.0%
回答しない	16	1.2%
無回答	2	0.2%
計	1377	100.0%

(3) 現在の職場での就労期間を教えてください（単数回答）

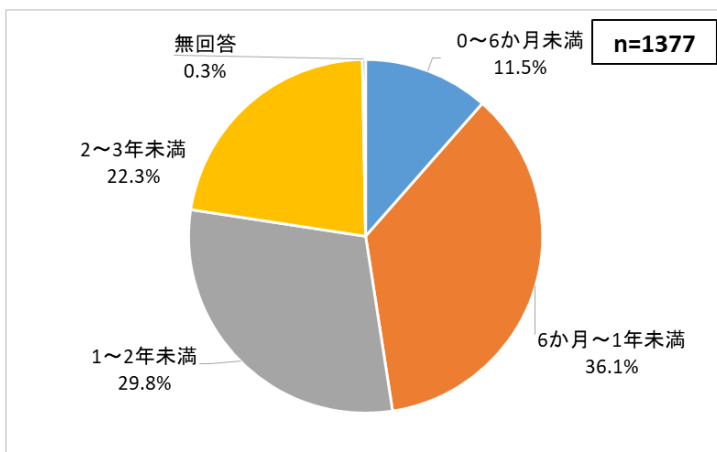


図3 現在の職場の就労時間

表3 現在の職場の就労期間

選択肢	回答数	%
0～6か月未満	158	11.5%
6か月～1年未満	497	36.1%
1～2年未満	411	29.8%
2～3年未満	307	22.3%
無回答	4	0.3%
計	1377	100.0%

(4) 現在の職場の施設・事業所の種別を教えてください (単数回答)

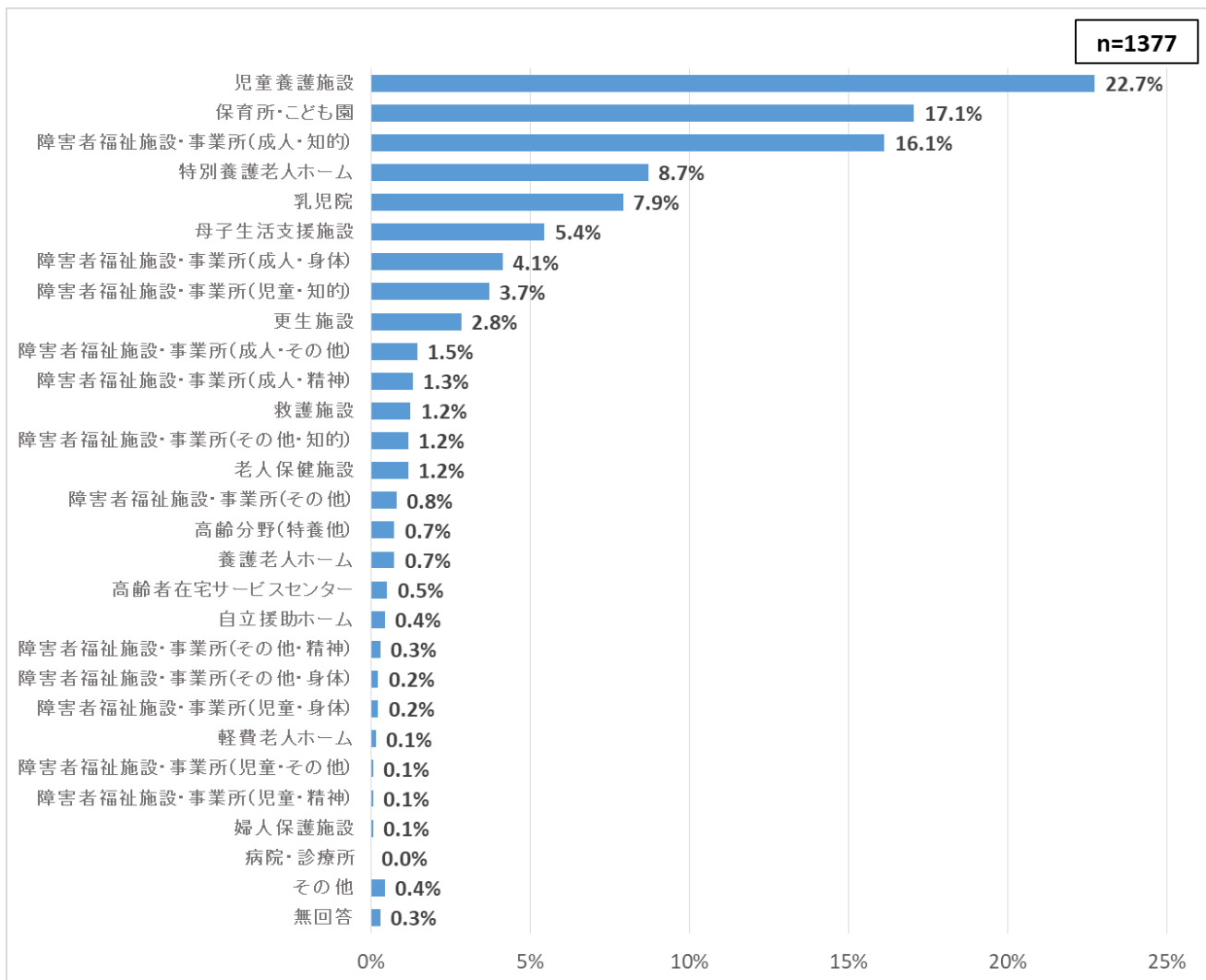


図4 現在の職場の種別

表4 現在の職場の種別

選択肢	回答数	%
児童養護施設	313	22.7%
保育所・こども園	235	17.1%
障害者福祉施設・事業所（成人・知的）	222	16.1%
特別養護老人ホーム	120	8.7%
乳児院	109	7.9%
母子生活支援施設	75	5.4%
障害者福祉施設・事業所（成人・身体）	57	4.1%
障害者福祉施設・事業所（児童・知的）	51	3.7%
更生施設	39	2.8%
障害者福祉施設・事業所（成人・その他）	20	1.5%
障害者福祉施設・事業所（成人・精神）	18	1.3%
救護施設	17	1.2%
障害者福祉施設・事業所（その他・知的）	16	1.2%
老人保健施設	16	1.2%
障害者福祉施設・事業所（その他）	11	0.8%
高齢分野（特養他）	10	0.7%
養護老人ホーム	10	0.7%
高齢者在宅サービスセンター	7	0.5%
自立援助ホーム	6	0.4%
障害者福祉施設・事業所（その他・精神）	4	0.3%
障害者福祉施設・事業所（その他・身体）	3	0.2%
障害者福祉施設・事業所（児童・身体）	3	0.2%
軽費老人ホーム	2	0.1%
障害者福祉施設・事業所（児童・その他）	1	0.1%
障害者福祉施設・事業所（児童・精神）	1	0.1%
婦人保護施設	1	0.1%
病院・診療所	0	0.0%
その他	6	0.4%
無回答	4	0.3%
計	1377	100.0%

(5) 現在の職場での職種を教えてください (単数回答)

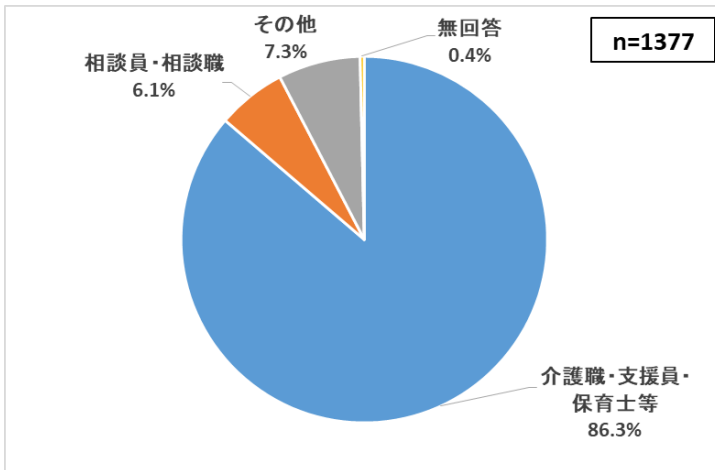


図5 現在の職場の職種

表5 現在の職場の職種

選択肢	回答数	%
介護職・支援員・保育士等	1188	86.3%
相談員・相談職	84	6.1%
その他	100	7.3%
無回答	5	0.4%
計	1377	100.0%

(6) 法人全体のおおよその職員数を教えてください (単数回答)

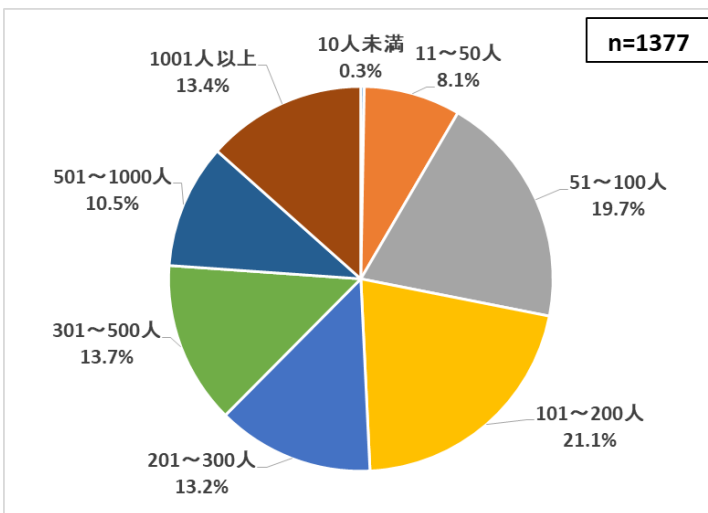


図6 法人全体の職員数

表6 法人全体の職員数

選択肢	回答数	%
10人未満	4	0.3%
11~50人	112	8.1%
51~100人	271	19.7%
101~200人	291	21.1%
201~300人	182	13.2%
301~400人	188	13.7%
501~1000人	144	10.5%
1001人以上	185	13.4%
計	1377	100.0%

(7) 所属先の施設・事業所のおおよその職員数を教えてください (単数回答)

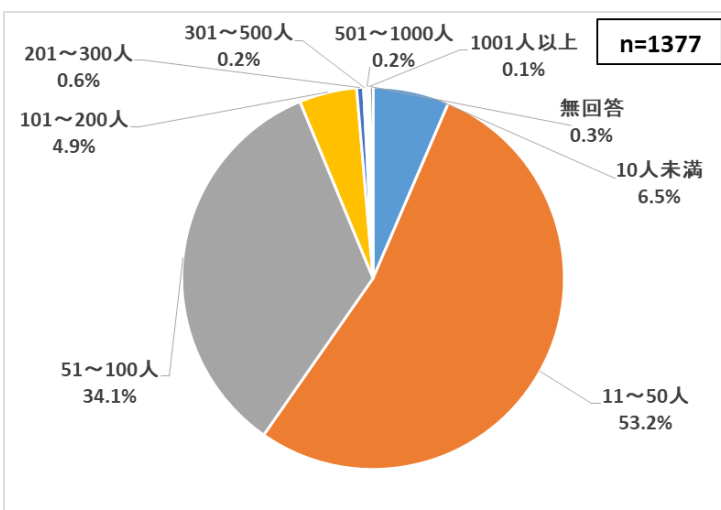


図7 現在の職場の職員数

表7 現在の職場の職員数

選択肢	回答数	%
10人未満	89	6.5%
11~50人	733	53.2%
51~100人	469	34.1%
101~200人	67	4.9%
201~300人	8	0.6%
301~400人	3	0.2%
501~1000人	3	0.2%
1001人以上	1	0.1%
無回答	4	0.3%
計	1377	100.0%

(8) ご自身の就労形態を教えてください (単数回答)

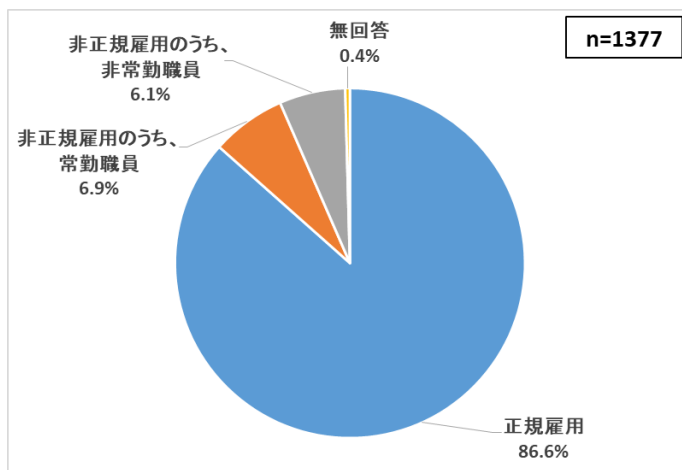


図8 現在の就労形態

表8 現在の就労形態

選択肢	回答数	%
正規雇用	1192	86.6%
非正規雇用のうち、常勤職員	95	6.9%
非正規雇用のうち、非常勤職員	84	6.1%
無回答	6	0.4%
計	1377	100.0%

(9) ご自身の以前の就労経験の有無を教えてください (単数回答)

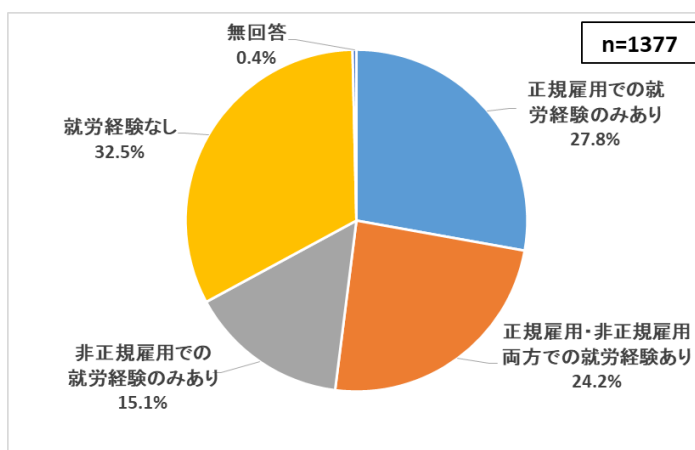


図9 以前の就労経験

表9 以前の就労経験

選択肢	回答数	%
正規雇用での就労経験のみあり	383	27.8%
正規雇用・非正規雇用両方での就労経験あり	333	24.2%
非正規雇用での就労経験のみあり	208	15.1%
就労経験なし	448	32.5%
無回答	5	0.4%
計	1377	100.0%

(10) (9) で「就労経験あり」の場合、主な（最も長く働いた）就労先の業種を教えてください（単数回答）

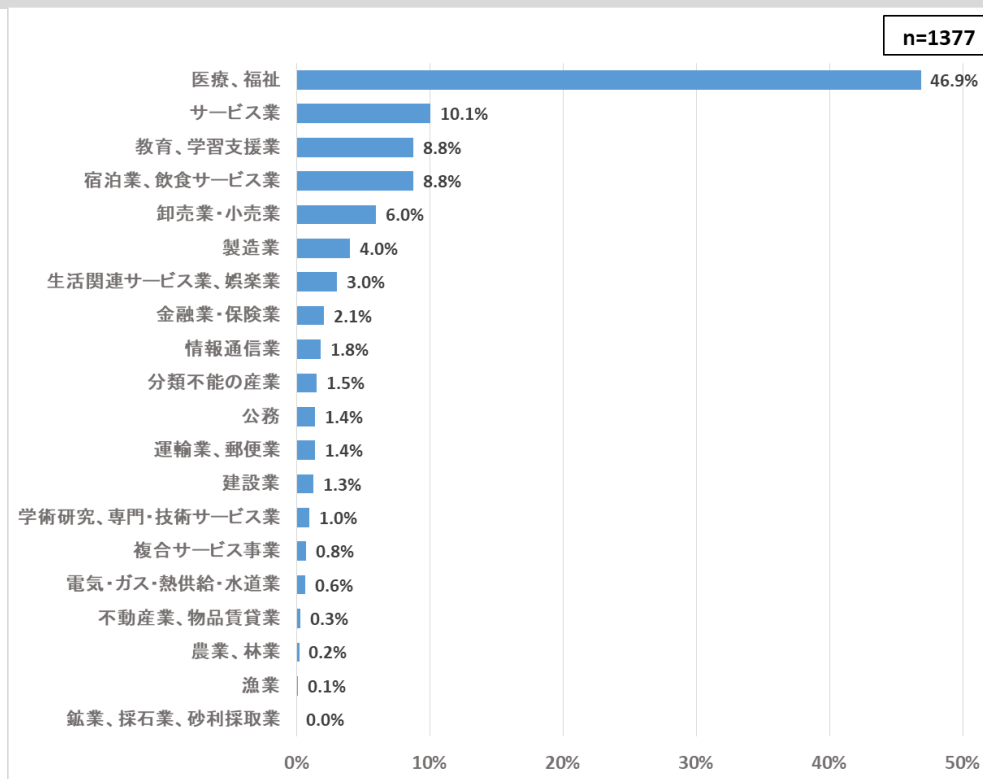


図 10 最も長く働いた就業先の業種

表 10 最も長く働いた就業先の業種

選択肢	回答数	%
医療、福祉	433	46.9%
サービス業	93	10.1%
教育、学習支援業	81	8.8%
宿泊業、飲食サービス業	81	8.8%
卸売業・小売業	55	6.0%
製造業	37	4.0%
生活関連サービス業、娯楽業	28	3.0%
金融業・保険業	19	2.1%
情報通信業	17	1.8%
分類不能の産業	14	1.5%
公務	13	1.4%
運輸業、郵便業	13	1.4%
建設業	12	1.3%
学術研究、専門・技術サービス業	9	1.0%
複合サービス事業	7	0.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.6%
不動産業、物品貸付業	3	0.3%
農業、林業	2	0.2%
漁業	1	0.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
計	1377	100.0%

(11) (9) で「就労経験あり」の場合、主な（最も長く働いた）就労先の職種を教えてください（単数回答）

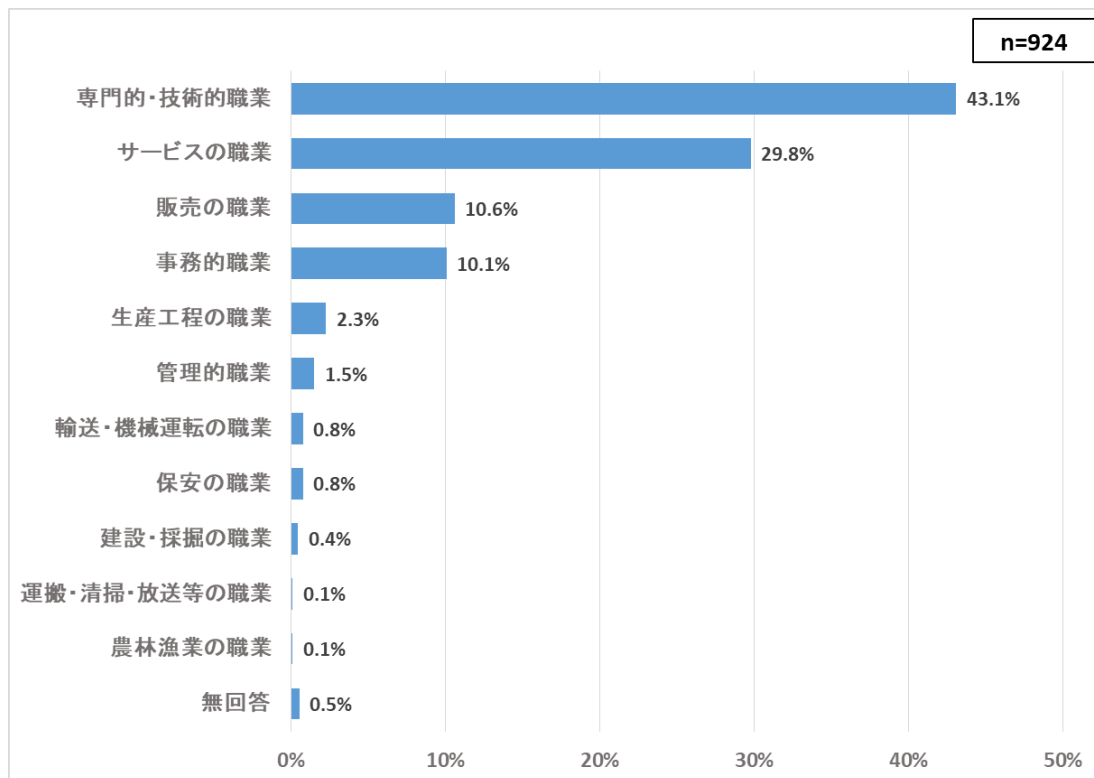


図 11 最も長く働いた就業先の職種

表 11 最も長く働いた就業先の職種

選択肢	回答数	%
専門的・技術的職業	398	43.1%
サービスの職業	275	29.8%
販売の職業	98	10.6%
事務的職業	93	10.1%
生産工程の職業	21	2.3%
管理的職業	14	1.5%
輸送・機械運転の職業	7	0.8%
保安の職業	7	0.8%
建設・採掘の職業	4	0.4%
運搬・清掃・放送等の職業	1	0.1%
農林漁業の職業	1	0.1%
無回答	5	0.5%
計	924	100.0%

(12) 現在の職場に就職する以前の、福祉現場での就労経験の有無とその内容を教えてください (単数回答)

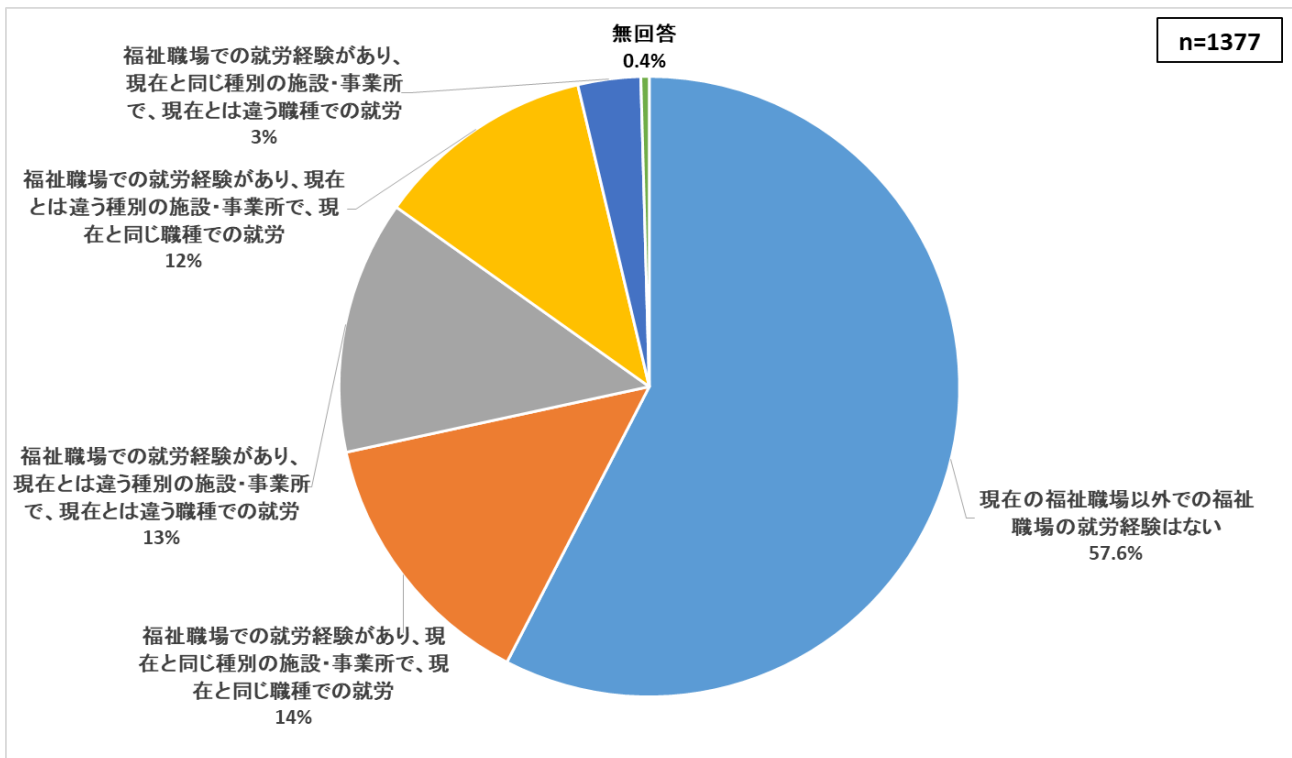


図 12 就労経験の有無と内容

表 12 就労経験の有無と内容

選択肢	回答数	%
現在の福祉職場以外での福祉職場の就労経験はない	793	57.6%
福祉職場での就労経験があり、現在と同じ種別の施設・事業所で、現在と同じ職種での就労	193	14.0%
福祉職場での就労経験があり、現在とは違う種別の施設・事業所で、現在とは違う職種での就労	182	13.2%
福祉職場での就労経験があり、現在とは違う種別の施設・事業所で、現在と同じ職種での就労	158	11.5%
福祉職場での就労経験があり、現在と同じ種別の施設・事業所で、現在とは違う職種での就労	45	3.3%
無回答	6	0.4%
計	1377	100.0%

(13) 現在の職場への就職前に、福祉に関連して学んだ経験の有無を教えてください（単数回答）

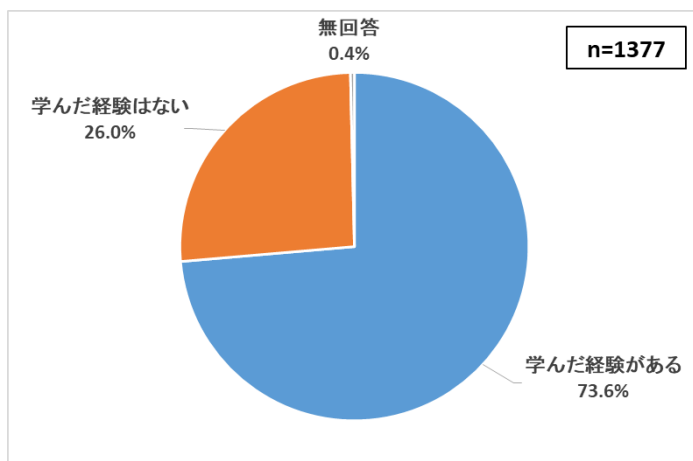


図 13 学んだ経験の有無

表 13 学んだ経験の有無

選択肢	回答数	%
学んだ経験がある	1014	73.6%
学んだ経験がない	358	26.6%
無回答	5	0.4%
計	1377	100.0%

(14) (13) で「学んだ経験がある」の場合、現在の職場への就職前に、福祉に関連して学んだ経験があることを教えてください（複数回答）

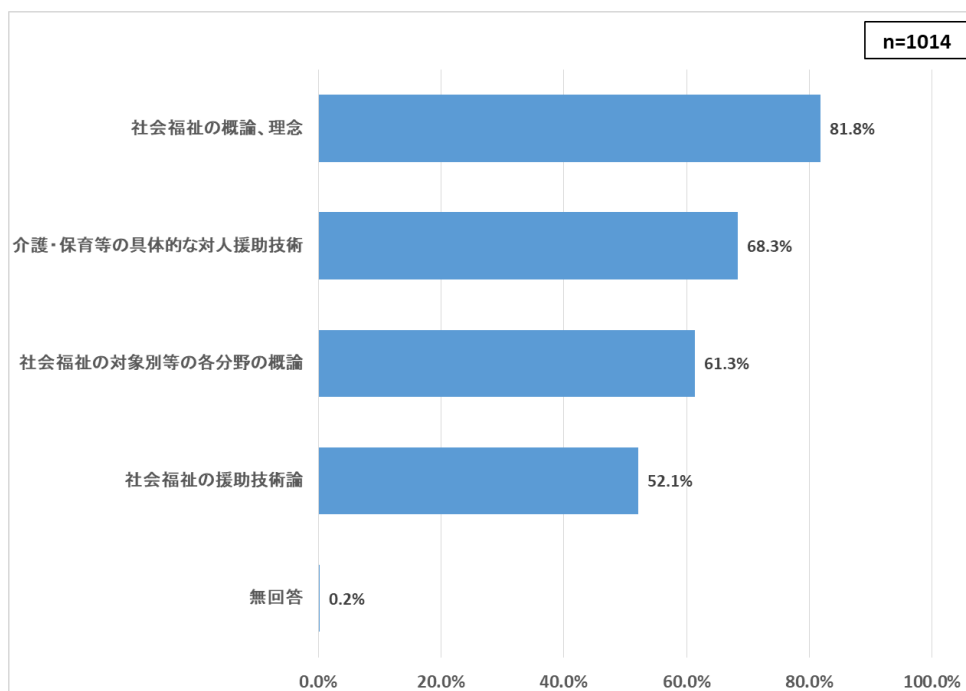


図 14 福祉に関連して学んだ経験があること

表 14 福祉に関連して学んだ経験があること

選択肢	回答数	%
社会福祉の概論、理念	829	81.8%
介護・保育等の具体的な対人援助技術	693	68.3%
社会福祉の対象別等の各分野の概論	622	61.3%
社会福祉の援助技術論	528	52.1%
無回答	2	0.2%

(15) (13) で「学んだ経験がある」場合、どこで学びましたか（複数回答）

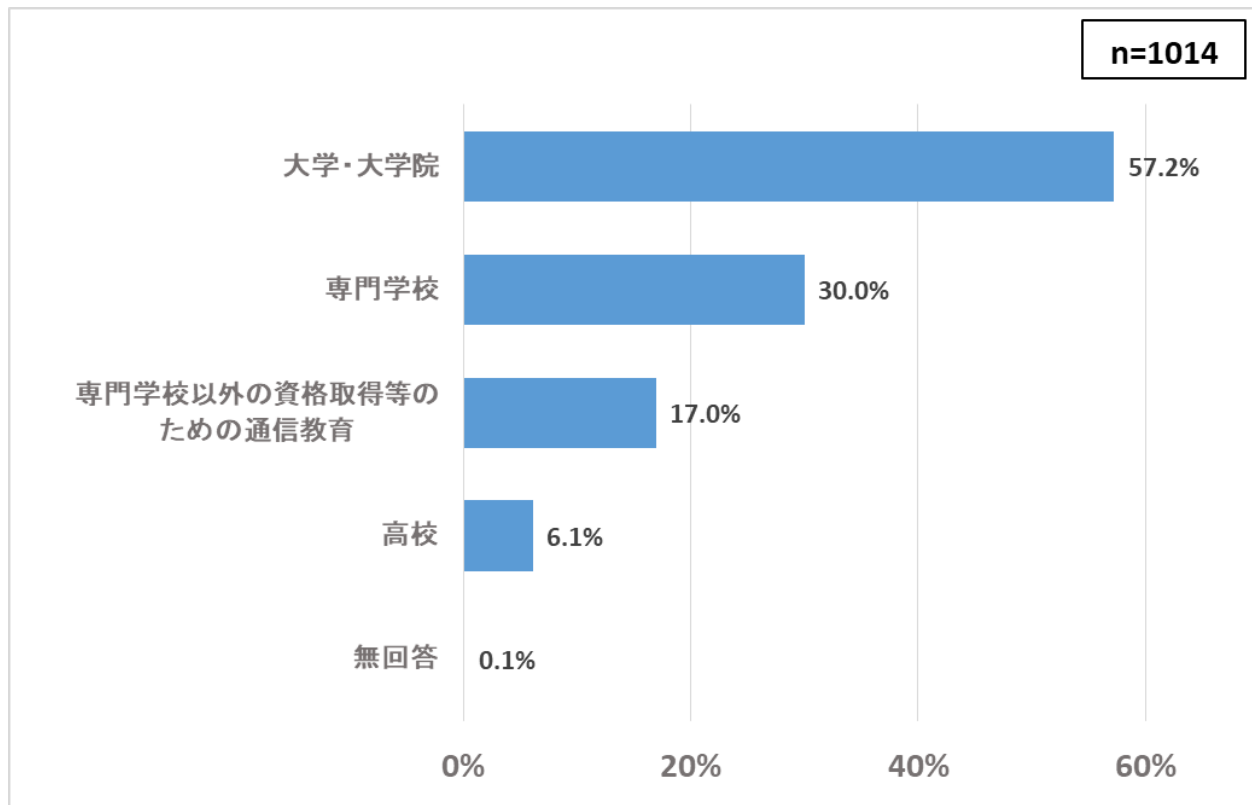


図 15 福祉を学んだ場所

表 15 福祉を学んだ場所

選択肢	回答数	%
大学・大学院	580	57.2%
専門学校	304	30.0%
専門学校以外の資格取得等のための通信教育	172	17.0%
高校	62	6.1%
無回答	1	0.1%

2 現在の職場に就職する前の状況について

(1) 福祉の仕事に関心をもったきっかけは何ですか（複数回答）

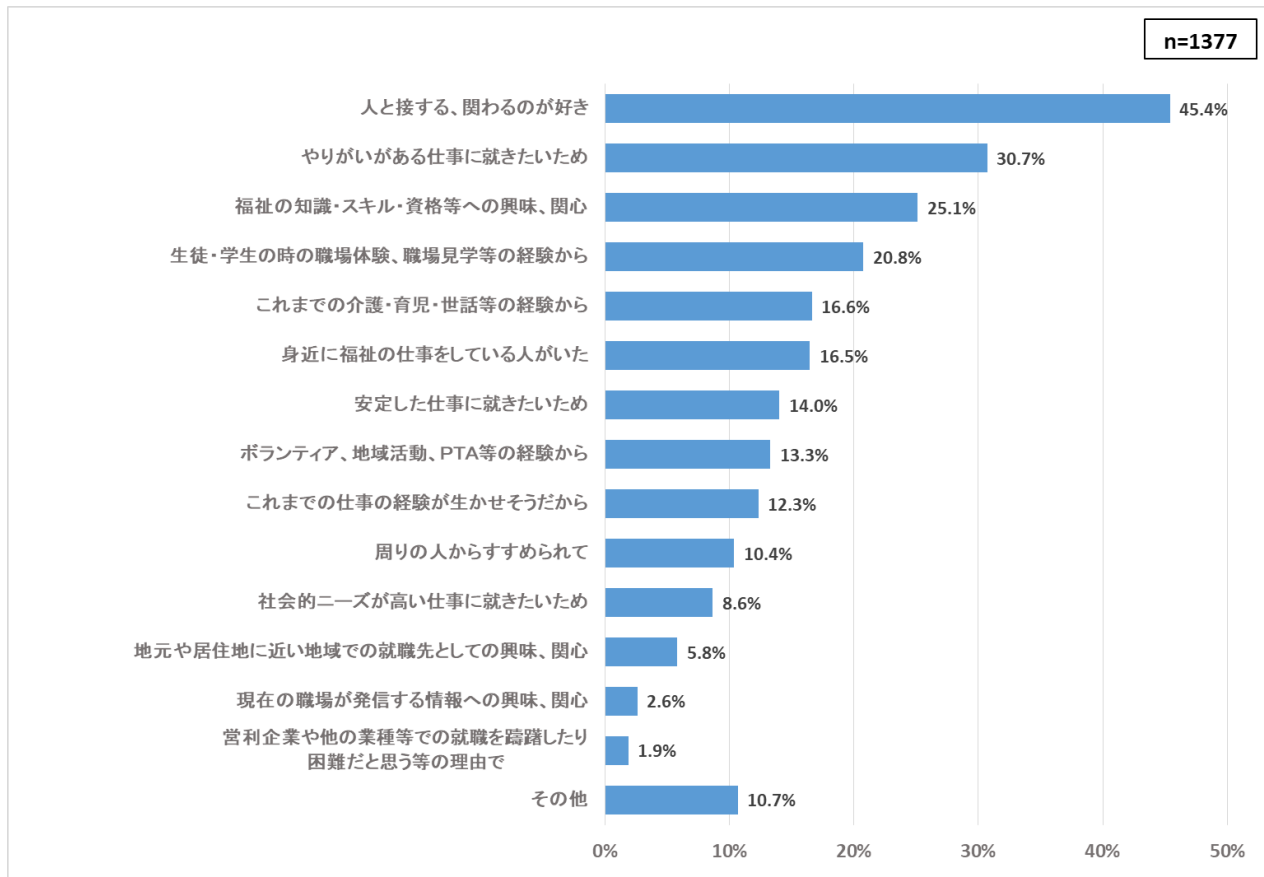


図 16 福祉の仕事に関心をもったきっかけ

表 16 福祉の仕事に関心をもったきっかけ

選択肢	回答数	%
人と接する、関わるのが好き	625	45.4%
やりがいがある仕事に就きたいため	423	30.7%
福祉の知識・スキル・資格等への興味、関心	346	25.1%
生徒・学生の時の職場体験、職場見学等の経験から	286	20.8%
これまでの介護・育児・世話等の経験から	229	16.6%
身近に福祉の仕事をしている人がいた	227	16.5%
安定した仕事に就きたいため	193	14.0%
ボランティア、地域活動、PTA等の経験から	183	13.3%
これまでの仕事の経験が生かせそうだから	170	12.3%
周りの人からすすめられて	143	10.4%
社会的ニーズが高い仕事に就きたいため	119	8.6%
地元や居住地に近い地域での就職先としての興味、関心	80	5.8%
現在の職場が発信する情報への興味、関心	36	2.6%
営利企業や他の業種等での就職を躊躇したり困難だと思う等の理由で	26	1.9%
その他	147	10.7%

(2) 現在の職場を就職先を選ぶ際に重視した点は何ですか（複数回答）

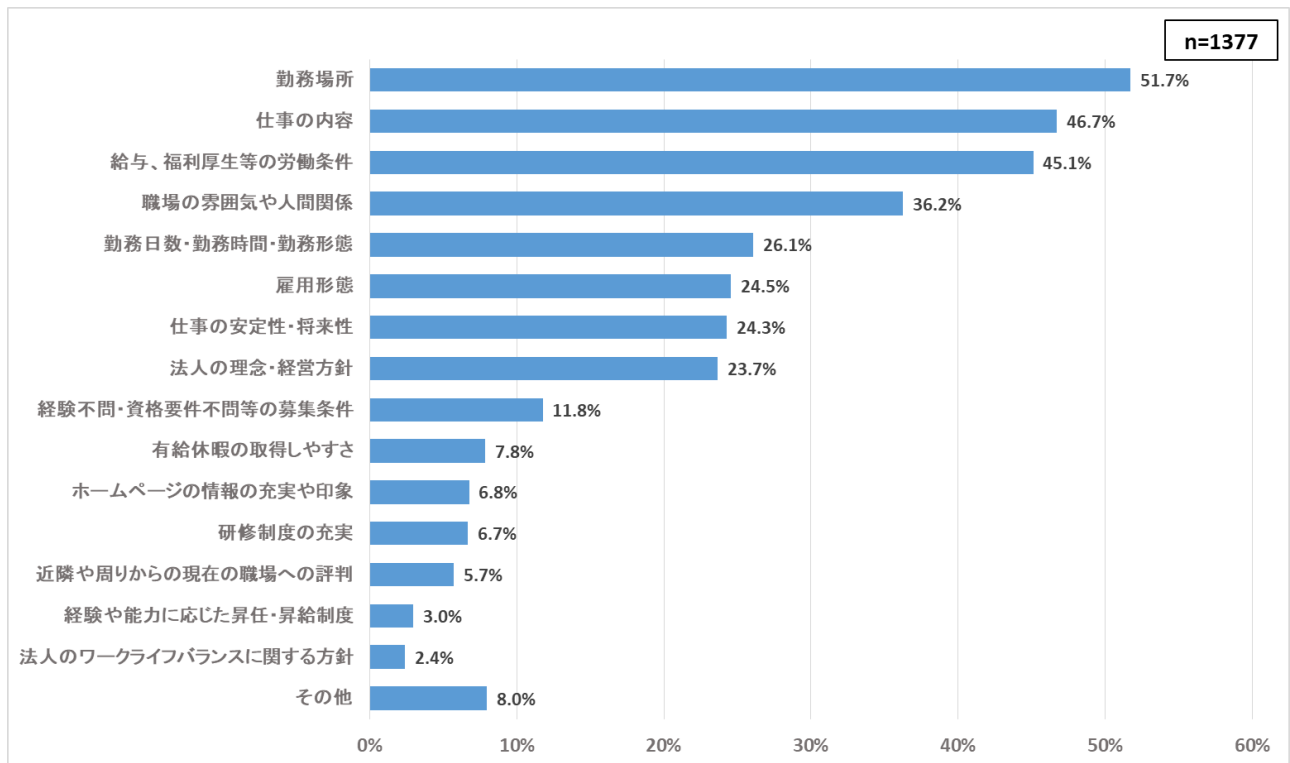


図 17 現在の職場を選ぶ際に重視した点

表 17 現在の職場を選ぶ際に重視した点

選択肢	回答数	%
勤務場所	712	51.7%
仕事の内容	643	46.7%
給与、福利厚生等の労働条件	621	45.1%
職場の雰囲気や人間関係	499	36.2%
勤務日数・勤務時間・勤務形態	359	26.1%
雇用形態	338	24.5%
仕事の安定性・将来性	334	24.3%
法人の理念・経営方針	326	23.7%
経験不問・資格要件不問等の募集条件	162	11.8%
有給休暇の取得しやすさ	108	7.8%
ホームページの情報の充実や印象	93	6.8%
研修制度の充実	92	6.7%
近隣や周りからの現在の職場への評判	79	5.7%
経験や能力に応じた昇任・昇給制度	41	3.0%
法人のワークライフバランスに関する方針	33	2.4%
その他	110	8.0%

(3) 現在の職場への就職に関する求人情報は、どこで得ましたか（複数回答）

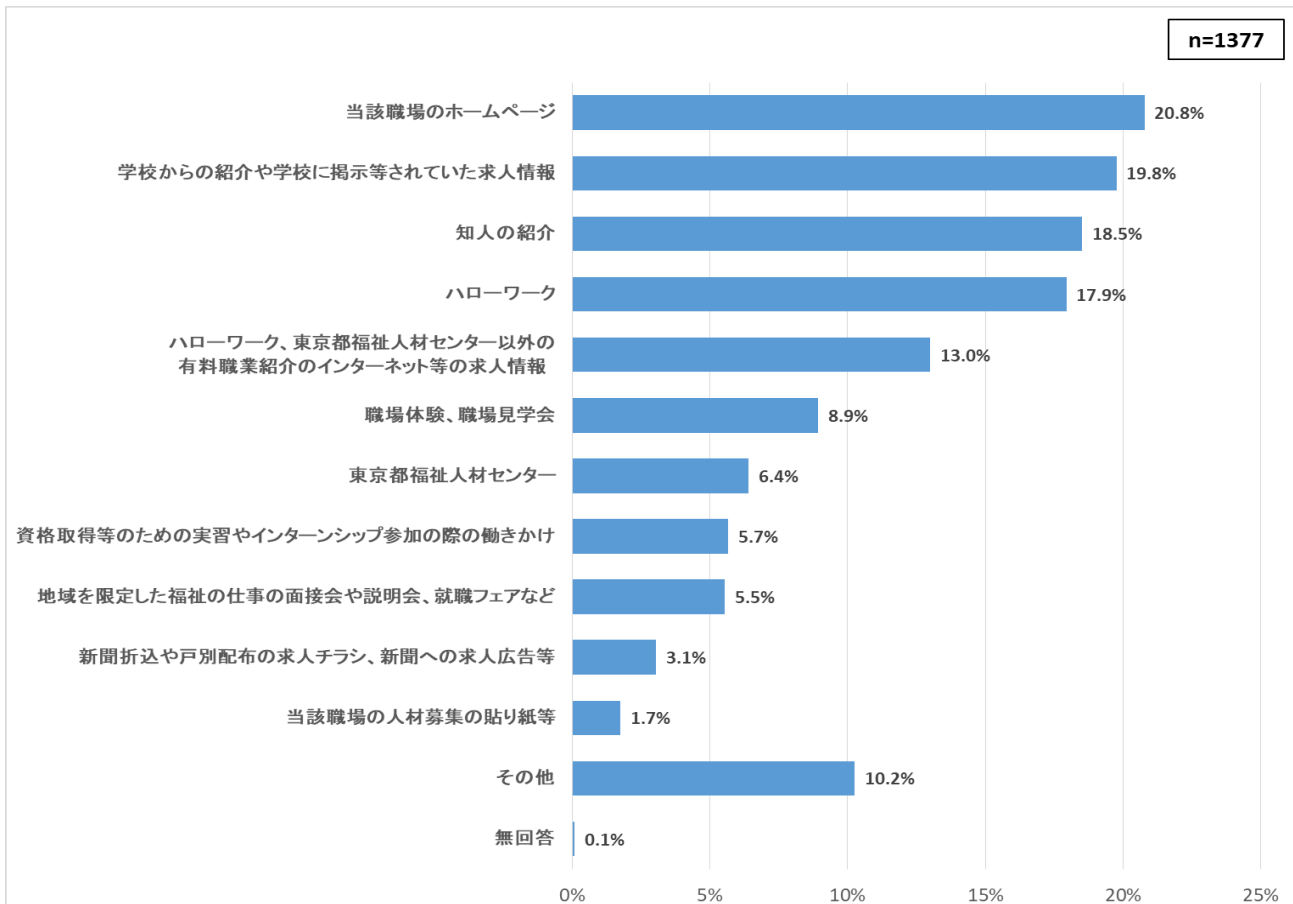


図 18 現在の職場に関する求人情報はどこで得たか

表 18 現在の職場に関する求人情報はどこで得たか

選択肢	回答数	%
当該職場のホームページ	286	20.8%
学校からの紹介や学校に掲示等されていた求人情報	272	19.8%
知人の紹介	255	18.5%
ハローワーク	247	17.9%
ハローワーク、東京都福祉人材センター以外の有料職業紹介のインターネット等の求人情報	179	13.0%
職場体験、職場見学会	123	8.9%
東京都福祉人材センター	88	6.4%
資格取得等のための実習やインターンシップ参加の際の働きかけ	78	5.7%
地域を限定した福祉の仕事の面接会や説明会、就職フェアなど	76	5.5%
新聞折込や戸別配布の求人チラシ、新聞への求人広告等	42	3.1%
当該職場の人材募集の貼り紙等	24	1.7%
その他	141	10.2%
無回答	1	0.1%

(4) 現在の職場で働き始めるまでに準備したことは何ですか（複数回答）

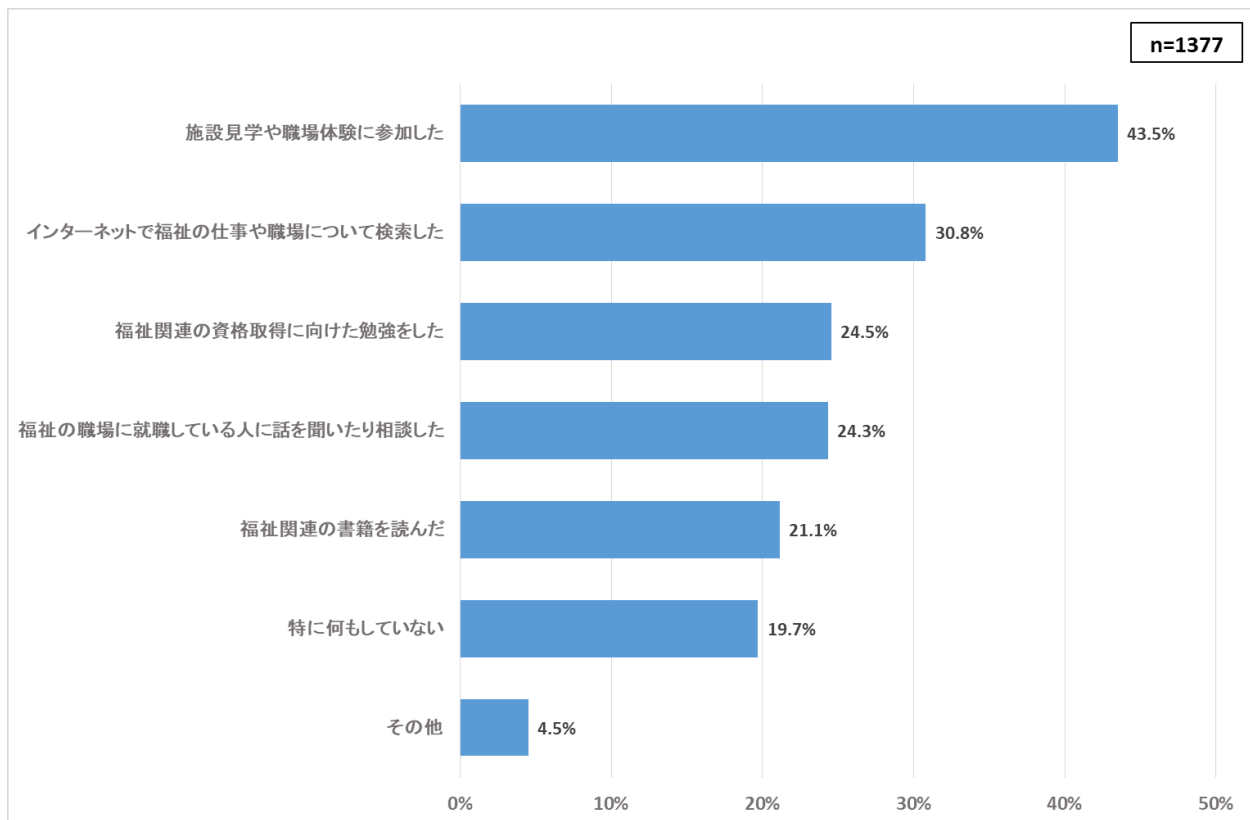


図 19 現在の職場で働き始めるまでに準備したこと

表 19 現在の職場で働き始めるまでに準備したこと

選択肢	回答数	%
施設見学や職場体験に参加した	291	43.5%
インターネットで福祉の仕事や職場について検索した	424	30.8%
福祉関連の資格取得に向け勉強をした	338	24.5%
福祉の職場に就職している人に話を聞いたり相談した	335	24.3%
福祉関連の書籍を読んだ	291	21.1%
特に何もしていない	271	19.7%
その他	62	4.5%

(5) 現在の職場への就職が決まってから、実際に働き始めるまで不安だったことは何ですか（複数回答）

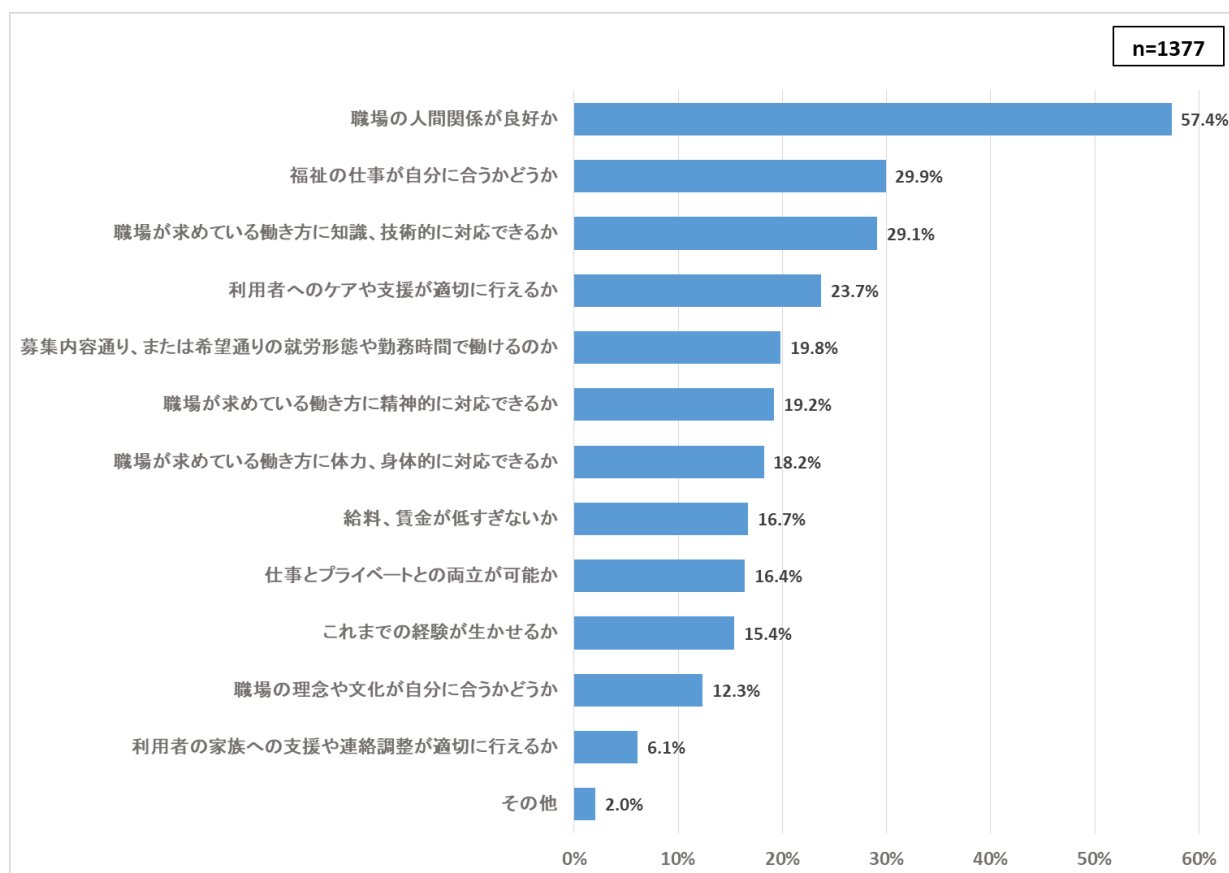


図 20 実際に働き始めるまでに不安だったこと

表 20 実際に働き始めるまでに不安だったこと

選択肢	回答数	%
職場の人間関係が良好か	790	57.4%
福祉の仕事が自分に合うかどうか	412	29.9%
職場が求めている働き方に知識、技術的に対応できるか	401	29.1%
利用者へのケアや支援が適切に行えるか	327	23.7%
募集内容通り、または希望通りの就労形態や勤務時間で働けるのか	270	19.8%
職場が求めている働き方に精神的に対応できるか	264	19.2%
職場が求めている働き方に体力、身体的に対応できるか	251	18.2%
給料、賃金が低すぎないか	230	16.7%
仕事とプライベートとの両立が可能か	226	16.4%
これまでの経験が生かせるか	212	15.4%
職場の理念や文化が自分に合うかどうか	170	12.3%
利用者や家族への支援や連絡調整が適切に行えるか	84	6.1%
その他	28	2.0%

3 現在の職場への就職直後の時期（入職時点からおよそ6か月頃まで）のご自身について

(1) 現在の職場への就職直後を振り返り、福祉の仕事や職場に対する印象はどうでしたか（単数回答）

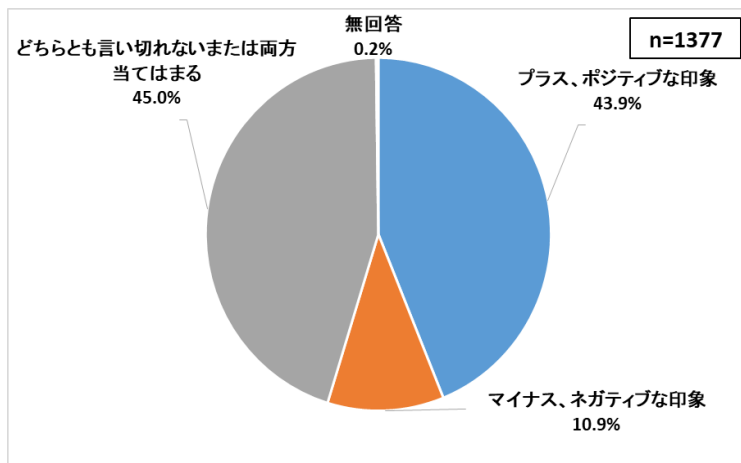


図 21 就職直後の職場に対する印象

表 21 就職直後の職場に対する印象

選択肢	回答数	%
プラス、ポジティブな印象	604	43.9%
マイナス、ネガティブな印象	150	10.9%
どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる	620	45.0%
無回答	3	0.2%
計	1377	100.0%

(2) (1) の回答の理由は何ですか（自由回答）

◎ 「プラス、ポジティブな印象」と回答した理由

主に【職場内の人間関係】【やりがい】【職場体制】に分類された。

【職場内の人間関係】では、「仕事や勤務について、上司に相談しやすい雰囲気があった。見本となる上司がいた」や、「職場内の人間関係が良好で困っていること等があっても相談できる環境が整っていた」といった回答があった。

【やりがい】では、「利用者の家族の方と接する事にやりがいを感じるため」や、「以前の職場での経験が活かしている」といった回答があった。

【職場体制】では、「未経験であっても OJT 研修を通じ学ぶ体制が整っている」や「福利厚生が充実している」といった回答があった。

表 22 「プラス、ポジティブな印象」と回答した理由（主な回答）

(1) 「職場内の人間関係」

- ・職場内の人間関係が良好で困っていること等があっても相談できる環境が整っていた。
- ・仕事や勤務について、上司に相談しやすい雰囲気があった。見本となる上司がいた。
- ・職員それぞれが高いプロ意識で自発的、意欲的に業務に取り組んでいる
- ・職場の人間関係が良好で、以前から自分がいのように接してもらえた。
- ・実習等で通っていたこともあり、職員の方と話しやすかったり、子どもと関わるのが好きだと改めて実感できてから。

(2) 「やりがい」

- ・利用者の家族の方と接する事にやりがいを感じるため。
- ・以前の職場での経験が活かしている
- ・これまでと違った角度から社会的養護に携わる経験が詰めている
- ・大学の勉強とは違い、実践での学びが多くあった。利用者との信頼関係を築けていけているのを実感することができた。初めは不安が大きかったが楽しく業務することが出来た

(3) 「職場体制」

- ・未経験であってもOJT研修を通じ学ぶ体制が整っている。
- ・福利厚生が充実している
- ・未経験者を受け入れる体制があり、受け入れてもらえた。
- ・ライフワークバランスがとれそう
- ・全くの未経験で入社したが、落ち着いた環境でゆっくり学ぶことが出来ていたため

◎「マイナス、ネガティブな印象」と回答した理由

主に【**身体・精神面**】、【**職場体制**】、【**職場内の人間関係**】、【**利用者支援**】に分類された。

【**身体・精神面**】では、「やりがいはあるがそれ以上に大変さが大きかったから」や、「精神的にも体力的にもきつく、休みも多くないので心身共に休まることができず辛かった」といった回答があった。

【**職場体制**】では、「精神的、肉体的に大きな疲労を感じるがそれに見合わず低収入」や「圧倒的に人手が足りない中で、負担の大きい仕事をしている」といった回答があった。

【**職場内の人間関係**】では、「人間関係が良くなく、わからないことが相談できない」や「連携がとれない」といった回答があった。

【**利用者支援**】では、「対応が難しい利用者様への不安」や、「未経験の分野で、支援対象者も以前の職場と変わったため不安が強かった」といった回答があった。

表23 「マイナス、ネガティブな印象」と回答した理由（主な回答）

(1) 「身体・精神面」

- ・精神的にも体力的にもきつく、休みも多くないので心身共に休まることができず辛かった
- ・自分にできないことが多い、自信が無い
- ・やりがいはあるがそれ以上に大変さが大きかったから
- ・理想と現実の差があり悩んだ

(2) 「職場体制」

- ・職員が少なく、わからないことを聞くことができなかった。
- ・求人票と勤務体系が違った。
- ・精神的、肉体的に大きな疲労を感じるがそれに見合わず低収入。
- ・圧倒的に人手が足りない中で、負担の大きい仕事をしている
- ・疲れると言った言動をよく耳にし、辞めていく職員も多い
- ・様々なことを先駆的に行なっているが、現場では休憩時間が確保されていなかったり、休日出勤がある。

(3) 「職場内の人間関係」

- ・部署間での連携があまりとれておらず、部署間の仲も不仲、互いに何をしているかわからない。
- ・福祉の職場の雰囲気になかなか適応できなかった。
- ・職場の雰囲気が悪かった
- ・人間関係が良くない

(4) 「利用者支援」

- ・適切に子どもと関わるができるか不安だった。
- ・利用者との関係構築に時間がかかったため
- ・対応が難しい利用者様への不安
- ・未経験の分野で、支援対象者も以前の職場と変わったため不安が強かった。

◎「どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる」と回答した理由

主に【やりがいと不安】、【職場体制・職場内の人間関係】、【利用者支援】に分類された。

【やりがいと不安】では、「就職直後はやる気などはあるけど不安がある」や、「楽しい時もあれば、求められていることができてるか不安になることが多かった」といった回答があった。

【職場体制・職場内の人間関係】では、「想像していたよりもコミュニケーションの機会が多く、多職種での連携を図ることが出来る」や、「前職と比べ自分に適していると思うが、育成システム、給与、福利厚生については課題とを感じる。」といった回答があった。

【利用者支援】では、「仕事の難しさを知った。利用者との信頼関係の難しさ」や、「高齢者福祉と障害者福祉の考え方や介助の違いにかなり戸惑った」といった回答があった。

表 24 「どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる」と回答した理由（主な回答）

(1) 「やりがいと不安」

- ・就職直後はやる気などはあるけど不安がある
- ・楽しい時もあれば、求められていることができてるか不安になることが多かった
- ・人と関わる楽しみやチームの一員として働くことができる反面、自分の能力で対応しきれないことがありやりがいを感ぜられないから。
- ・精神的疲労が多い一方、やりがいがある為どちらともいえない。

(2) 「職場体制・職場内の人間関係」

- ・想像していたよりもコミュニケーションの機会が多く、多職種での連携を図ることが出来る
- ・急な時間外勤務があったり、勤務時間が不規則であったりと体力的にきつと感じることがある
- ・場の雰囲気がよく働きやすい環境でした。一方で、OJTやマニュアル整備等不十分な点があると感じ、不安を感じることもありました。外部研修等に沢山参加させて頂いた事は学びも多く嬉しかったです。
- ・前職と比べ自分に適していると思うが、育成システム、給与、福利厚生については課題とを感じる。

(3) 「利用者支援」

- ・児童と接することが楽しいが、集団生活での不満が児童から出てくる際、対応に困った。
- ・仕事の難しさを知った。利用者との信頼関係の難しさ
- ・高齢者福祉と障害者福祉の考え方や介助の違いにかなり戸惑った。
- ・利用者様のジェスチャー(要望)がどこまで理解できるか不安

(3) 現在の職場への就職直後の時期（およそ入職時点から6カ月頃まで）を振り返り、以下の各項目についてどう感じましたか（単数回答）

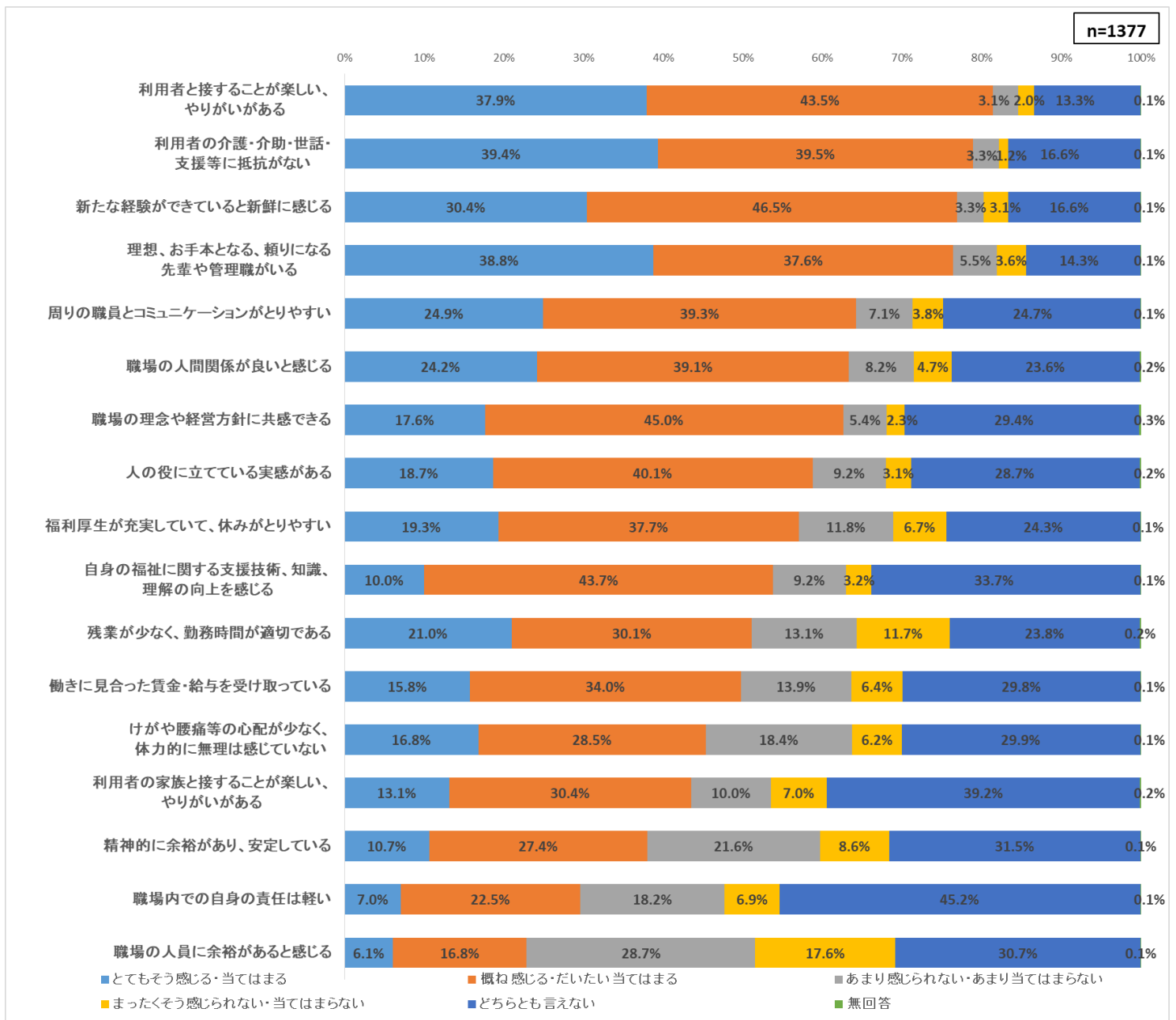


図 22 就職直後の振り返り

表 25 就職直後の振り返り

項目	回答数	とてもそう 感じる・当て はまる	概ね感じ る・だいたい 当てはまる	あまり感じ られない・あ まり当ては まらない	まったくそ う感じられ ない・当ては まらない	どちらとも いえない	無回答
	%						
利用者と接することが楽しい、やりがいがある	1377	522	599	43	28	183	2
	100.0%	37.9%	43.5%	3.1%	2.0%	13.3%	0.1%
利用者の介護・介助・世話・支援等に抵抗がない	1377	542	544	45	16	228	2
	100.0%	39.4%	39.5%	3.1%	1.2%	16.6%	0.1%
新たな経験ができていと新鮮に感じる	1377	419	640	46	42	228	2
	100.0%	30.4%	46.5%	3.3%	3.1%	33.7%	0.1%
理想、お手本となる、頼りになる先輩や管理職がいる	1377	534	518	76	50	197	2
	100.0%	38.8%	37.6%	3.6%	14.3%	14.3%	0.1%
周りの職員とコミュニケーションがとりやすい	1377	343	541	98	53	340	2
	100.0%	24.9%	39.3%	3.8%	24.7%	7.1%	0.1%
職場の人間関係が良いと感じる	1377	333	538	113	65	325	3
	100.0%	24.2%	39.1%	8.2%	4.7%	23.6%	0.1%
職場の理念や経営方針に共感できる	1377	243	619	75	31	405	4
	100.0%	17.6%	45.0%	5.4%	2.3%	29.4%	0.3%
人の役に立っている実感がある	1377	257	552	127	43	395	3
	100.0%	18.7%	40.1%	9.2%	3.1%	28.7%	0.2%
福利厚生が充実していて、休みがとりやすい	1377	266	519	163	92	335	2
	100.0%	19.3%	37.7%	11.8%	6.7%	24.3%	0.1%
自身の福祉に関する支援技術、知識、理解の向上を感じる	1377	138	602	127	44	464	2
	100.0%	10.0%	43.7%	9.2%	3.2%	33.7%	0.1%
残業が少なく、勤務時間が適切である	1377	289	415	181	161	328	3
	100.0%	21.0%	30.1%	13.1%	11.7%	23.8%	0.2%
働きに見合った賃金・給与を受け取っている	1377	217	468	191	88	411	2
	100.0%	15.8%	34.0%	13.9%	6.4%	24.3%	0.1%
けがや腰痛等の心配が少なく、体力的に無理は感じていない	1377	232	392	253	86	412	2
	100.0%	16.8%	28.5%	18.4%	6.2%	29.9%	0.1%
利用者の家族と接することが楽しい、やりがいがある	1377	181	418	138	97	540	3
	100.0%	13.1%	30.4%	10.0%	7.0%	39.2%	0.2%
精神的に余裕があり、安定している	1377	147	377	298	119	434	2
	100.0%	10.7%	27.4%	21.6%	8.6%	31.5%	0.1%
職場内での自身の責任は軽い	1377	97	310	250	95	623	2
	100.0%	7.0%	22.5%	18.2%	6.9%	45.2%	0.1%
職場の人員に余裕があると感じる	1377	242	395	231	84	423	2
	100.0%	6.1%	16.8%	28.7%	17.6%	30.7%	0.1%

(4) 現在の職場への就職直後の時期に、ご自身が特にどのようなことを知るべき、身につけるべきと感じましたか（複数回答）

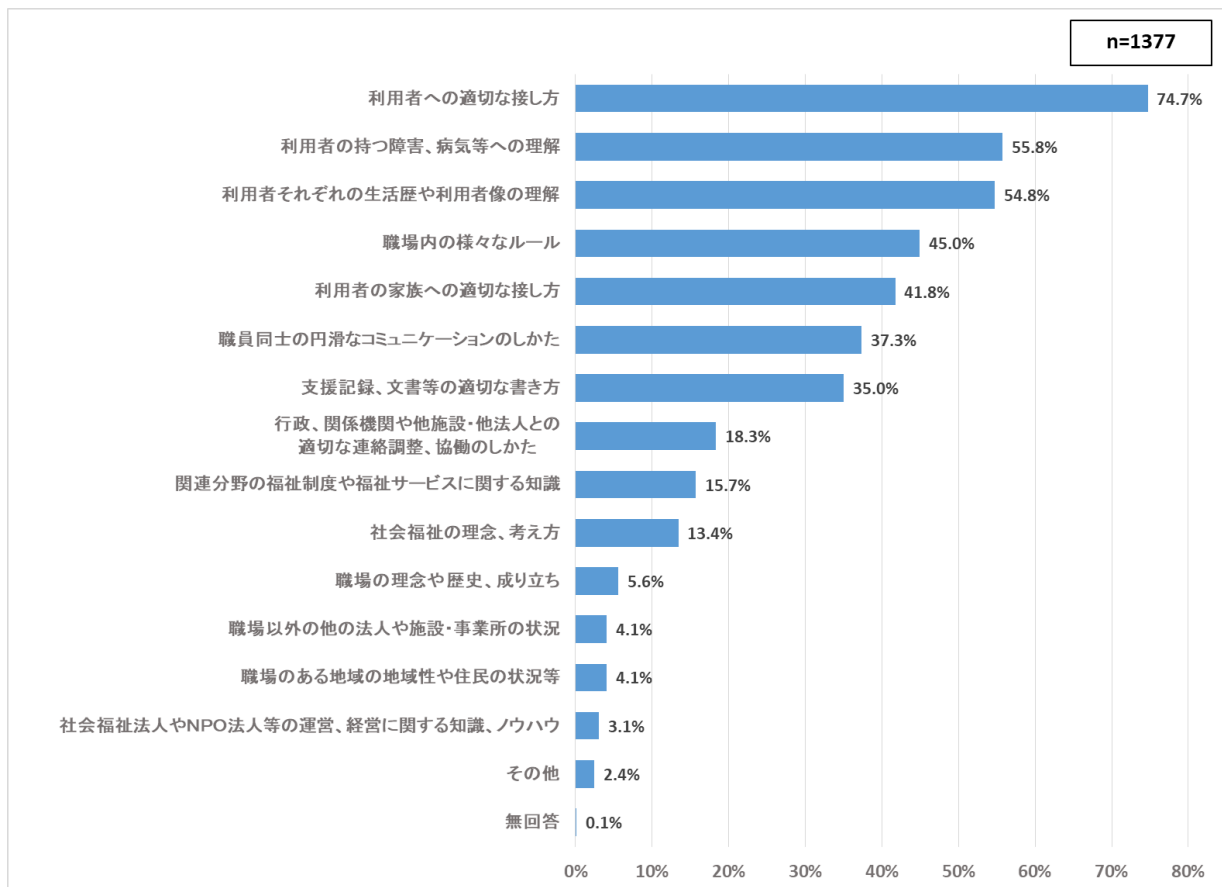


図 23 就職直後に身につけるべきこと

表 26 就職直後に身につけるべきこと

選択肢	回答数	%
利用者への適切な接し方	1029	74.7%
利用者の持つ障害、病気等への理解	768	55.8%
利用者それぞれの生活歴や利用者像の理解	754	54.8%
職場内の様々なルール	619	45.0%
利用者の家族への適切な接し方	575	41.8%
職員同士の円滑なコミュニケーションのしかた	514	37.3%
支援記録、文書等の適切な書き方	482	35.0%
行政、関係機関や他施設・他法人との適切な連絡調整、協働のしかた	252	18.3%
関連分野の福祉制度や福祉サービスに関する知識	216	15.7%
社会福祉の理念、考え方	185	13.4%
職場の理念や歴史、成り立ち	77	5.6%
職場以外の他の法人や施設・事業所の状況	56	4.1%
職場のある地域の地域性や住民の状況等	56	4.1%
社会福祉法人やNPO法人等の運営、経営に関する知識、ノウハウ	42	3.1%
その他	33	2.4%
無回答	2	0.1%

(5) 現在の職場への就職直後の時期に、戸惑ったことや困ったことは何ですか（自由回答）

主に【利用者支援】、【経験・資格】、【職員・関係機関との連携】【仕事のすすめ方】に分類された。

【利用者支援】では、「利用者の支援の方法に戸惑った」や、「特に排泄介助の仕方が障害によって違い、なかなか技術を習得できない」といった回答があった。

【経験・資格】では、「専門の資格を持った職員の中で、資格のない自分がやっていたか」や、「同じ福祉業界の中でも分野が違ったため、分からないことが多かったこと」といった回答があった。

【職員・関係機関との連携】では、「他職種とのコミュニケーションのとりかた」や、「分からないことをすぐに質問できる環境でなかった」といった回答があった。

【仕事のすすめ方】では、「全体の流れや役割の流動的な部分への理解、把握に時間がかかった」や、「コロナ禍による在宅ワーク」といった回答があった。

表 27 就職直後の時期に、戸惑ったことや困ったこと（主な回答）

(1) 「利用者支援」

- ・利用者への対応はどこまで関わればいいのか分かりませんでした。
- ・支援方法がわからず困った
- ・子どもとの接し方や注意の仕方が分からなかった
- ・特に排泄介助の仕方が障害によって違い、なかなか技術を習得できない。
- ・利用者との接し方や関わり方、注意や指導が必要になった際の伝え方がわからず困った
- ・年上の利用者さんとのコミュニケーションの取り方。利用者さんの行動や考えを理解すること。
- ・利用者の名前を覚えること

(2) 「経験・資格」

- ・障がい者の特性が理解できていなかったこと
- ・専門の資格を持った職員の中で、資格のない自分がやっていたか
- ・現在の職場にかかわる福祉分野についての知識不足。
- ・専門知識が足りない
- ・同じ福祉業界の中でも分野が違ったため、分からないことが多かったこと
- ・知的障害について知識がなかったため、自分の支援があっているのか不安だった。

(3) 「職員・関係機関との連携」

- ・他職種とのコミュニケーションのとりかた
- ・多職種連携について
- ・分からないことをすぐに質問できる環境でなかった
- ・周りに同期がいなく、相談できる相手がいなかった

(4) 「仕事のすすめ方」

- ・以前の職場と違うので1から覚えなきゃいけなかった。
- ・全体の流れや役割の流動的な部分への理解、把握に時間がかかった。
- ・コロナ禍による在宅ワーク
- ・コロナの影響もあり研修がほとんどできないまま現場に入ったため基本がわからなかった

(6) (5) でご記入いただいたことを解消するために、ご自身ではどのような対応をしましたか (自由回答)

主に【上司・同僚・同業者とのコミュニケーション】、【自己研鑽】、【リフレッシュ】に分類された。

【上司・同僚・同業者とのコミュニケーション】では、「事前に分からないことは聞いたりよく周りを見るようにした」や、「職場の先輩に積極的に意見を聞く。他施設の同業者と情報交換する」といった回答があった。

【自己研鑽】では、「地域資料の参照や他の職員に地域について聞いたり、自身で地域探索を行った」や、「マニュアルや自分のメモを作成して活用した」といった回答があった。

【リフレッシュ】では、「適度に有休を使った」や、「しっかりした食事、ストレッチ」といった回答があった。

表 28 戸惑ったことや困ったことを解消するために対応したこと (主な回答)

(1) 「上司・同僚・同業者とのコミュニケーション」

- ・分からない事は、先輩方に相談し解決していくようにしました。
- ・事前に分からないことは聞いたりよく周りを見るようにした
- ・先輩に疑問を聞き自分の考えを伝えたり、自分からいろんな職員へ話しかけたり会議の場で情報共有の時間を設けてもらいたいと伝えた。
- ・先輩保育者をひたすら見て、質問をして教えていただきました。
- ・積極的にコミュニケーションをとった。
- ・職場の先輩に積極的に意見を聞く。他施設の同業者と情報交換する。

(2) 「自己研鑽」

- ・地域資料の参照や他の職員に地域について聞いたり、自身で地域探索を行った
- ・情報の予習、復習するように心がけた
- ・メモなどをとり、周りを見ながら作業を覚えるようにした。
- ・知識を深める為、学生時代の参考書を改めて読んだ。
- ・マニュアルや自分のメモを作成して活用した。
- ・日々の介助で経験を積んだ。youtube で介護動画を見た。
- ・書籍やインターネットを活用した
- ・マニュアルを読み込む。
- ・試行錯誤を繰り返したり、セミナーで知識を得たりした。

(3) 「リフレッシュ」

- ・適度に有休を使った。
- ・起床就寝時間を一定にする
- ・仕事をなるべく早く終わらせた
- ・休息をしっかり取りながら、慣れる。
- ・しっかりした食事、ストレッチ

(7) (5) でご記入いただいたことを解消するために、どのような支援や手助け、手掛かり等があるとよかったですか (自由回答)

主に【マニュアル】、【職場内の人間関係】、【職場環境・OJT体制の整備】、【学びの機会】に分類された。

【マニュアル】では、「マニュアルが統一されていると良かった」や、「業務のマニュアル化」といった回答があった。
【職場内の人間関係】では、「職員の情報共有が大事であったり、先輩のもう少し手厚いフォローも必要だと感じた」や、「コミュニケーションがとりやすい雰囲気と環境」といった回答があった。

【職場環境・OJT体制の整備】では、「OJTの体制を整える」や、「引継ぎを受ける時間がもっと密にあればいいと思った」といった回答があった。

【学びの機会】では、「支援についての定期的な確認の場」や、「専門的な本がいつでも困った時に読めるような環境があると良かった」といった回答があった。

表 29 どのような支援や手助け、手掛かり等があるとよいか (主な回答)

(1) 「マニュアル」

- ・ 前任からの引継ぎマニュアル
- ・ マニュアルが統一されていると良かった
- ・ 禁止ワードマニュアルや、注意点をまとめた文書
- ・ 業務のマニュアル化。
- ・ マニュアルがなかったため、あったほうが理解できたかも。全部口答説明だったのでメモしても、理解できていないこともあったから。

(2) 「職場内の人間関係」

- ・ 職員の情報共有が大事であったり、先輩のもう少し手厚いフォローも必要だと感じた。
- ・ 分からない事をすぐに聞ける環境
- ・ 周りの職員からの助言
- ・ 年齢が離れていても気軽に話しかけられる雰囲気作り
- ・ コミュニケーションがとりやすい雰囲気と環境

(3) 「職場環境・OJT体制の整備」

- ・ しばらくの間は、1対1で時間をかけて教えてほしい。
- ・ 教育を一貫して、やって下さる担当の方がいらっしやるとより質問がしやすい
- ・ 引継ぎを受ける時間がもっと密にあればいいと思った
- ・ OJTの体制を整える
- ・ 事故の起きにくい環境設定や職員のメンタルコントロール。

(4) 「学びの機会」

- ・ 支援についての定期的な確認の場。
- ・ 定期的なスキルアップ面談など
- ・ 初任者研修は有効である
- ・ 研修など、不安や悩みをぶつけられた際にどのように接するべきか学びがあるとよいかも
- ・ 専門的な本がいつでも困った時に読めるような環境があると良かった

4 現在のご自身について

(1) 現在の福祉の仕事や職場に対する印象はどうか（単数回答）

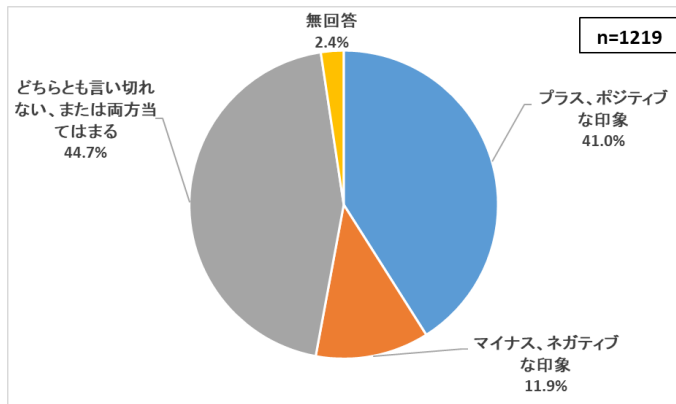


図 24 現在の仕事や職場に対する印象

表 30 現在の仕事や職場に対する印象

選択肢	回答数	%
プラス、ポジティブな印象	500	41.0 %
マイナス、ネガティブな印象	145	11.9%
どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる	545	44.7%
無回答	29	2.4%
計	1219	100.0%

(2) (1) の回答の理由は何ですか（自由回答）

◎ 「プラス、ポジティブな印象」と回答した理由

主に【やりがい】、【職場内の人間関係】、【職場体制】に分類された。

【やりがい】では、「日々やりがいを感じられる。子どもたちから必要とさせていると感じられる」や、「現場での支援を通して利用者の変化に気付くことができ、目にみえてやりがいを感じる」といった回答があった。

【職場内の人間関係】では、「チームワークがとれている」や、「話しかけにくいな、と思っていた職員とも話す機会が増えて思っていたことを知ることができたから」といった回答があった。

【職場内の人間関係】では、「ワークバランスが良いから」や、「趣味の時間を確保できる」といった回答があった。

表 30 「プラス、ポジティブな印象」と回答した理由（主な回答）

(1) 「やりがい」

- ・日々やりがいを感じられる。子どもたちから必要とさせていると感じられる
- ・任される仕事が増え、利用者との時間を楽しく過ごす事が出来ている
- ・以前よりも利用者の方について知り、仕事に関しても任せてもらえる事も増え、やりがいを感じられる為。
- ・利用者を理解できるようになり、パン作業等、自分のスキルが生かしている。
- ・現場での支援を通して利用者の変化に気付くことができ、目にみえてやりがいを感じることが増え、利用者の方と関係もできてきたから。
- ・チームの中での自分の働き方見え、仕事のやりがいや楽しさを見いだせたから

(2) 「職場内の人間関係」

- ・職員間で話が出来る様になって楽しい
- ・お互い声をかけ合い協力している。休憩中などの会話や関わりから人間関係が築けている。手本となる先輩が身近にたくさんいて心強い。
- ・話しかけにくいな、と思っていた職員とも話す機会が増えて思っていたことを知ることができたから。
- ・チームワークがとれている。
- ・仕事は学びが多く楽しい、職場は人間関係が良いので全員が意見を言いやすいと感じる

(2) 「職場内の人間関係」

- ・ワークバランスが良いから
- ・指導者がいること
- ・相談のしやすさがある。残業が少なく、良い。
- ・働きやすい環境
- ・趣味の時間を確保できる

◎「マイナス、ネガティブな印象」と回答した理由

主に【職場体制】、【職場内の人間関係】、【身体・精神面】に分類された。

【職場体制】では、「職員の人数が少なく、仕事量が多い」や、「職員の欠員が多く物理的に大変である」といった回答があった。

【職場内の人間関係】では、「職員間のコミュニティ環境が悪い」や、「配属先やリーダーの考え方により、支援できていることの差、ムラが大きい」といった回答があった。

【精神的負担】では、「今の仕事が自分に合っているのか不安」や、「精神的負担が大きいと感じる為」といった回答があった。

表 31 「マイナス、ネガティブな印象」と回答した理由（主な回答）

(1) 「職場体制」

- ・職員の人数が少なく、仕事量が多い。
- ・仕事量の多さと責任が重い
- ・職員の欠員が多く物理的に大変である。
- ・休みが取れない
- ・年数があがるにつれ、3年目なのに背負う仕事量が多くなる

(2) 「職場内の人間関係」

- ・職員間のコミュニティ環境が悪い
- ・人間関係があまり良くないから
- ・配属先やリーダーの考え方により、支援できていることの差、ムラが大きい
- ・自分の気持ちのコントロールと仕事を毎日いくことのバランスが難しいと思った。

(3) 「身体・精神面」

- ・今の仕事が自分に合っているのか不安。
- ・児童からの注目行動、暴言に精神的に疲労を感じる
- ・精神的負担が大きいと感じる為
- ・安定はしているが、体力的な不安がある
- ・体力的、精神的疲労がある。
- ・自分の気持ちのコントロールと仕事を毎日いくことのバランスが難しいと思った。

◎「どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる」と回答した理由

主に【やりがいと責任】、【身体・精神面】、【勤務条件・職場環境】、【職場内の人間関係】に分類された。

【やりがいと責任】では、「やりがいは感じるが、責任や悩みも増えたため」や、「プラスの面もありつつ、事務仕事が追いつかない。」といった回答があった。

【不安感】では、「自分の支援に自身が持てないときがある」や、「自分自身の力量や、学びが必要と感じる点多くある」といった回答があった。

【職場体制】では、「下の意見が上に届きにくい。昔からのやり方へのこだわりがある」や、「福祉の仕事にやりがいを感じているが、職員の休みだったり心身的な余裕が、守られない事が不安」といった回答があった。

【職場内の人間関係】では、「上司の中に話しかけにくい人がいるが、先輩職員は皆優しい」や、「ご利用者にはではなく職員への気遣いが大いに必要なため」といった回答があった。

表 32 「どちらとも言い切れないまたは両方当てはまる」と回答した理由（主な回答）

(1) 「やりがいと責任」

- ・やりがいは感じるが、責任や悩みも増えたため
- ・利用者と接する事は楽しいが、仕事内容が増え時間内に終わらず事に精一杯になっている。
- ・プラスの面もありつつ、事務仕事が追いつかない。
- ・やりがいを感じるが、精神疾患を持つ利用者との関わりに難しさも感じるため
- ・支援におけるバーンアウトと、人と関わると面白いところもある。

(2) 「身体・精神面」

- ・自分の支援に自信が持てないときがある
- ・自分が本当にしたいことがわからない
- ・自分自身の力量や、学びが必要と感じる点多くある。
- ・基本的にはプラスな印象でやりがいも感じているが、自分の精神状態があまりよくないとつらく感じることもある。
- ・利用者さんの言葉が精神的にきついことがある。

(3) 「勤務条件・職場環境」

- ・下の意見が上に届きにくい。昔からのやり方へのこだわりがある。
- ・給与が低い
- ・職場は明るく風通しもよいが、人員が少ない
- ・福祉の仕事にやりがいを感じているが、職員の休みだったり心身的な余裕が、守られない事が不安
- ・とても大切な仕事を担っているという自負はあり、誇りに思える。しかし、サービス残業も多く、働きに見合った給与が貰えていない。

(4) 「職場内の人間関係」

- ・上司の中に話しかけにくい人がいるが、先輩職員は皆優しい
- ・職員同士がお互いに「何か手伝いますか?」「困ってる?」と声を掛けあって仕事できていて相談しやすく働きやすい。
- ・ご利用者にはではなく職員への気遣いが大いに必要なため

(3) 現在、以下の各項目についてどう感じますか（単数回答）

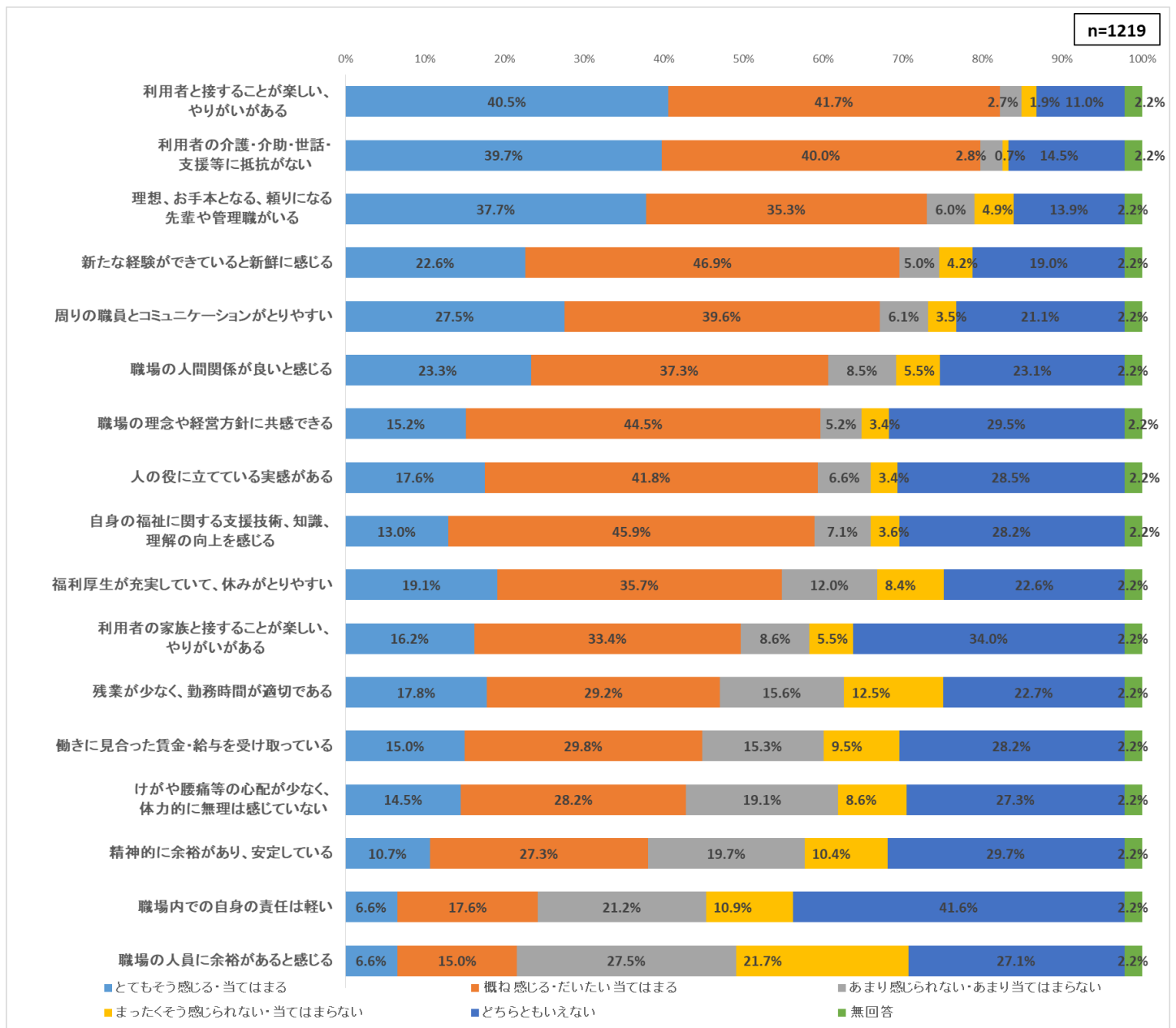


図25 現在、感じていること

表33 現在、感じていること

項目	回答数	とてもそう 感じる・当て はまる	概ね感じ る・だいたい 当てはまる	あまり感じ られない・あ まり当ては まらない	まったくそ う感じられ ない・当ては まらない	どちらとも いえない	無回答
	%						
利用者と接することが楽しい、やりがいがある	1219	494	508	33	23	134	27
	100.0%	40.5%	41.7%	2.7%	1.9%	11.0%	2.2%
利用者の介護・介助・世話・支援等に抵抗がない	1219	484	488	2.8%	0.7%	14.5%	27
	100.0%	39.7%	40.0%	105	67	415	2.2%
理想、お手本となる、頼りになる先輩や管理職がいる	1219	460	430	73	60	169	27
	100.0%	37.7%	35.3%	6.0%	4.9%	13.9%	2.2%
新たな経験ができていと新鮮に感じる	1219	276	572	61	51	232	27
	100.0%	22.6%	46.9%	5.0%	4.2%	19.0%	2.2%
周りの職員とコミュニケーションがとりやすい	1219	335	483	74	43	257	27
	100.0%	27.5%	39.6%	6.1%	3.5%	21.1%	2.2%
職場の人間関係が良いと感じる	1219	284	455	104	67	282	27
	100.0%	23.3%	37.3%	8.5%	5.5%	23.1%	2.2%
職場の理念や経営方針に共感できる	1219	185	52	63	42	360	27
	100.0%	15.2%	44.5%	5.2%	3.4%	29.5%	2.2%
人の役に立てている実感がある	1219	214	509	81	41	347	27
	100.0%	17.6%	41.8%	6.6%	3.4%	28.5%	2.2%
自身の福祉に関する支援技術、知識、理解の向上を感じる	1219	158	560	86	44	344	27
	100.0%	13.0%	45.9%	7.1%	3.6%	28.2%	2.2%
福利厚生が充実していて、休みがとりやすい	1219	233	435	146	102	276	27
	100.0%	19.1%	35.7%	12.0%	8.4%	22.6%	2.2%
利用者の家族と接することが楽しい、やりがいがある	1219	198	407	105	67	415	27
	100.0%	16.2%	33.4%	8.6%	5.5%	34.0%	2.2%
残業が少なく、勤務時間が適切である	1219	217	356	190	152	277	27
	100.0%	17.8%	29.2%	15.6%	12.5%	22.7%	2.2%
働きに見合った賃金・給与を受け取っている	1219	183	363	186	116	344	27
	100.0%	15.0%	29.8%	15.3%	9.5%	28.2%	2.2%
けがや腰痛等の心配が少なく、体力的に無理は感じていない	1219	177	344	233	105	333	27
	100.0%	14.5%	28.2%	19.1%	8.6%	27.3%	2.2%
精神的に余裕があり、安定している	1219	130	333	240	127	362	27
	100.0%	10.7%	27.3%	19.7%	10.4%	29.7%	2.2%
職場内での自身の責任は軽い	1219	80	214	358	133	507	27
	100.0%	6.6%	17.6%	21.2%	10.9%	41.6%	2.2%
職場の人員に余裕があると感じる	1219	80	183	335	264	330	27
	100.0%	6.6%	15.0%	27.5%	21.7%	27.1%	2.2%

(4) 現在、ご自身は特にどのようなことを知るべき、身につけるべきと感じますか（複数回答）

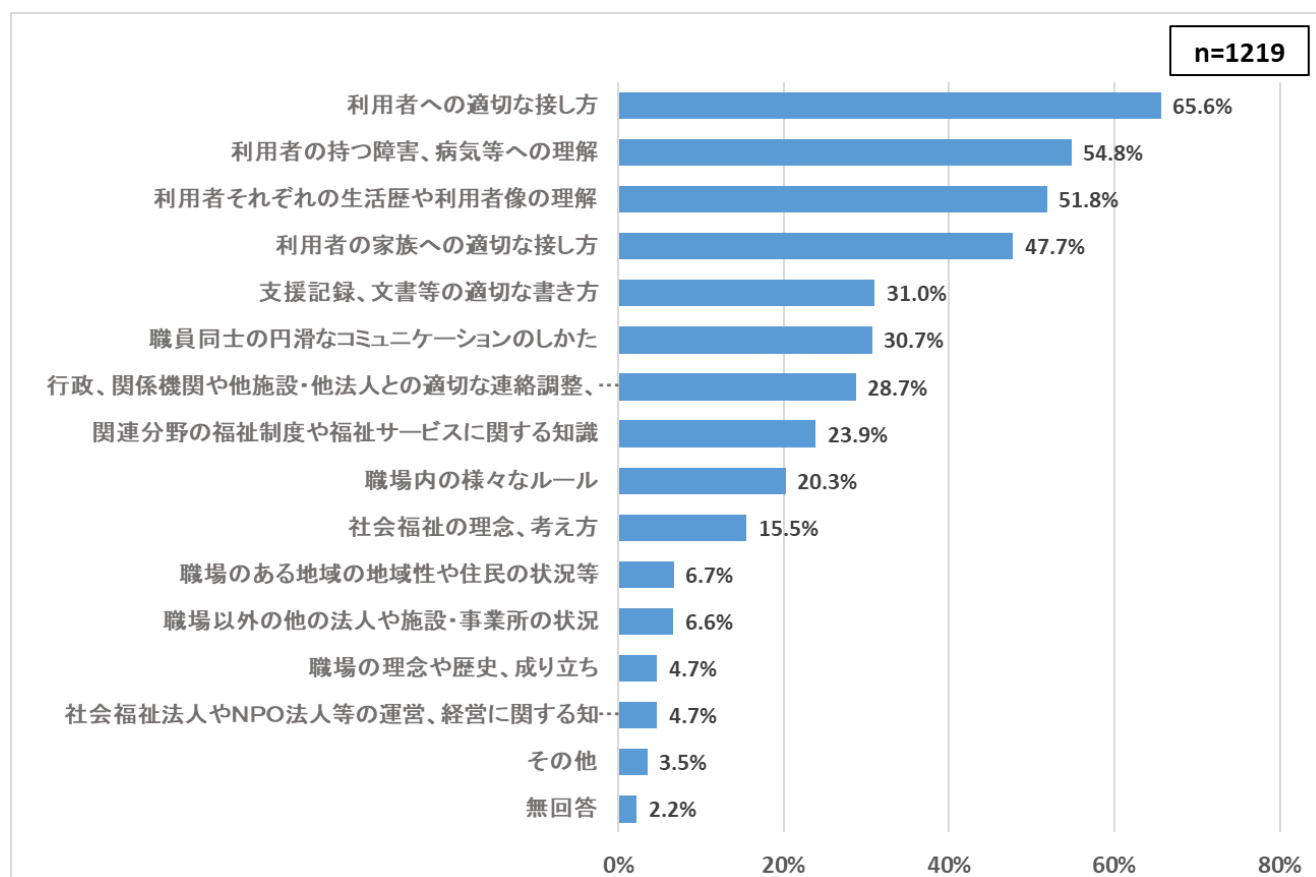


図 26 現在、身につけるべきこと

表 34 現在、身につけるべきこと

選択肢	回答数	%
利用者への適切な接し方	800	65.6%
利用者の持つ障害、病気等への理解	668	54.8%
利用者それぞれの生活歴や利用者像の理解	632	51.8%
利用者の家族への適切な接し方	582	47.7%
支援記録、文書等の適切な書き方	378	31.0%
職員同士の円滑なコミュニケーションのしかた	374	30.7%
行政、関係機関や他施設・他法人との適切な連絡調整、協働のしかた	350	28.7%
関連分野の福祉制度や福祉サービスに関する知識	291	23.9%
職場内の様々なルール	247	20.3%
社会福祉の理念、考え方	189	15.5%
職場のある地域の地域性や住民の状況等	82	6.7%
職場以外の他の法人や施設・事業所の状況	81	6.6%
職場の理念や歴史、成り立ち	57	4.7%
社会福祉法人やNPO法人等の運営、経営に関する知識、ノウハウ	57	4.7%
その他	43	3.5%
無回答	27	2.2%

(5) 現在、仕事に関する自己研鑽やキャリアアップに向けて何か取り組んでいることはありますか
(複数回答)

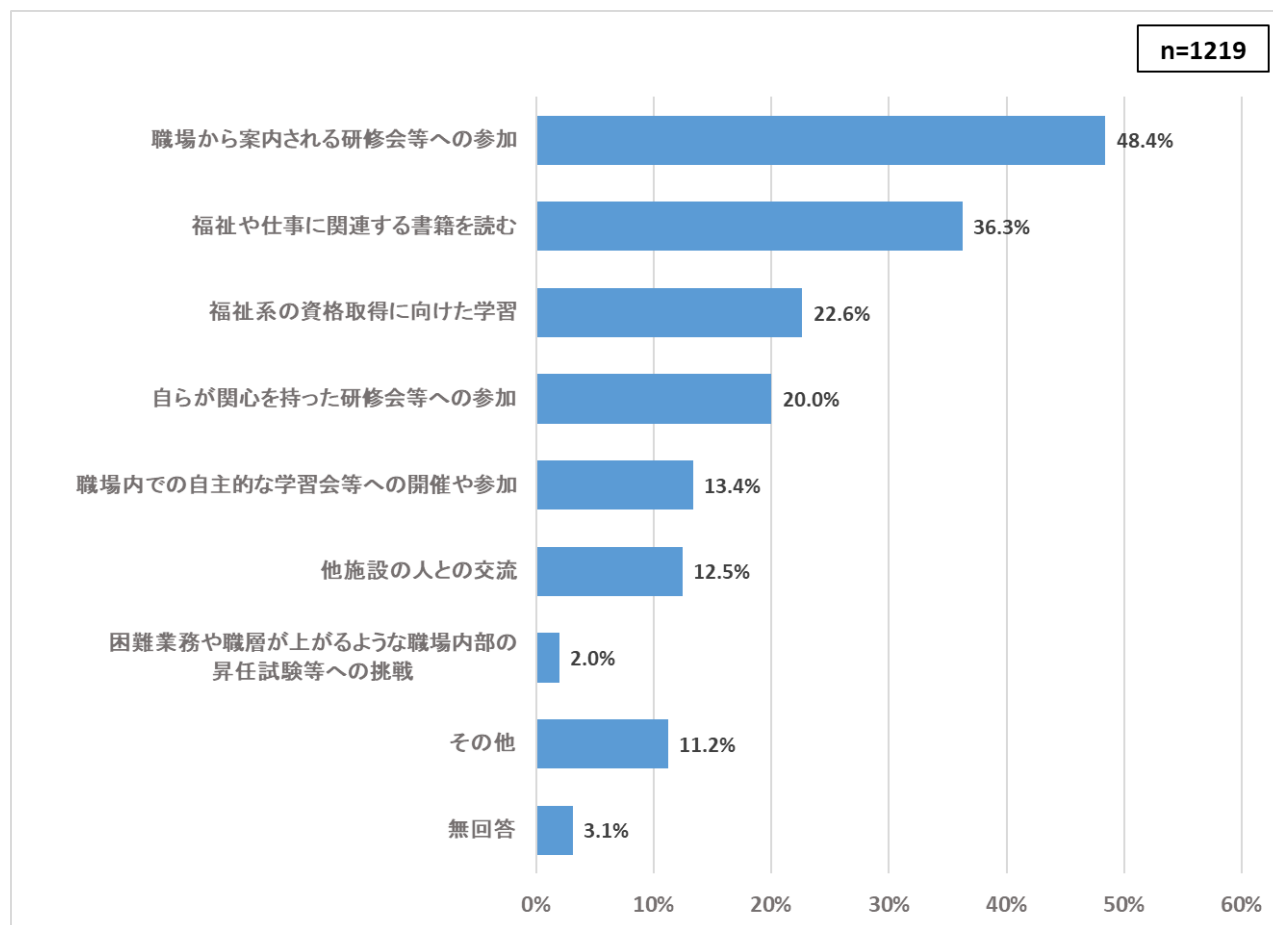


図 27 現在、自己研鑽やキャリアアップに向けて取り組んでいること

表 35 現在、自己研鑽やキャリアアップに向けて取り組んでいること

選択肢	回答数	%
職場から案内される研修会等への参加	590	48.4%
福祉や仕事に関連する書籍を読む	442	36.3%
福祉系の資格取得に向けた学習	276	22.6%
自らが関心を持った研修会等への参加	244	20.0%
職場内での自主的な学習会等への開催や参加	163	13.4%
他施設の人との交流	152	12.5%
困難業務や職層が上がるような職場内部の承認試験等への挑戦	24	2.0%
その他	137	11.2%
無回答	38	3.1%

(6) 他分野での仕事や就労経験と比べ、現在の福祉の仕事や職場についてどのようにお感じですか
(自由回答)

主に【やりがい】、【職場体制と労働条件】、【求められる姿勢】、【身体・精神面】に分類された。

【やりがい】では、「とてもやりがいを感じられ素敵な職業だと思う」や、「人の役に立っていると実感できる」といった回答があった。

【職場体制と労働条件】では、「人員が足りていないと感じる」や、「給与や仕事とプライベートの両立が安定していると感じた」といった回答があった。

【求められる姿勢】では、「対人関係でのスキルが必要」や、「コロナ禍において欠かせない仕事である。危機管理をしながら業務を行う必要がある」といった回答があった。

【身体・精神面】では、「努力が評価されにくい」や、「日勤と夜勤があるため、日に応じた勤務への慣れや、精神面・体力面の必要さを感じる」といった回答があった。

表 36 福祉の仕事や職場について、感じること (主な回答)

(1) 「やりがい」

- ・とてもやりがいを感じられ素敵な職業だと思う
- ・人間誰もが1度は必要とするであろう現場に携わる事ができて誇りに思う
- ・大変な仕事ですがやりがいがあります利用者様と信頼関係ができると嬉しいです心温まる思いです
- ・人の役に立っていると実感できる。
- ・周りからは楽な仕事と思われがちだがそのようなことはなく、常に子どもの命を預かっているのできちんと責任感をもってやるべき仕事だと思っている。

(2) 「職場体制と労働条件」

- ・勤務外でいかなければならない仕事が多い。働きと給与が見合っていない。
- ・人員が足りていないと感じる。
- ・給与や仕事とプライベートの両立が安定していると感じた。
- ・身体を使う仕事なので、体調管理が重要と感じる。
- ・比較的休暇の希望は通りやすく、プライベートの時間もしっかり取れて働きやすい職場だと感じる
- ・24時間のシフト業務となるため情報共有をいかにして行うかが課題と感じた

(3) 「求められる姿勢」

- ・利用者の家族だけでなく、学校、児相など外部との関わりが多いため、支援方法だけでなく一緒に社会性も身につけていく必要があると感じた。
- ・対人関係でのスキルが必要
- ・人間力がとても大切になってくる職業だと感じる
- ・コロナ禍において欠かせない仕事である。危機管理をしながら業務を行う必要がある。

(4) 「身体・精神面」

- ・努力が評価されにくい
- ・精神面、肉体面でしんどいことが多い。
- ・日勤と夜勤があるため、日に応じた勤務への慣れや、精神面・体力面の必要さを感じる
- ・身体を使う仕事なので、体調管理が重要と感じる。

(7) 福祉職場で働き始める未経験（福祉に関する専門的な学びの経験がなく、また福祉分野で就労経験のない状態）の方にとって、役立つと思うツールはありますか（複数回答）

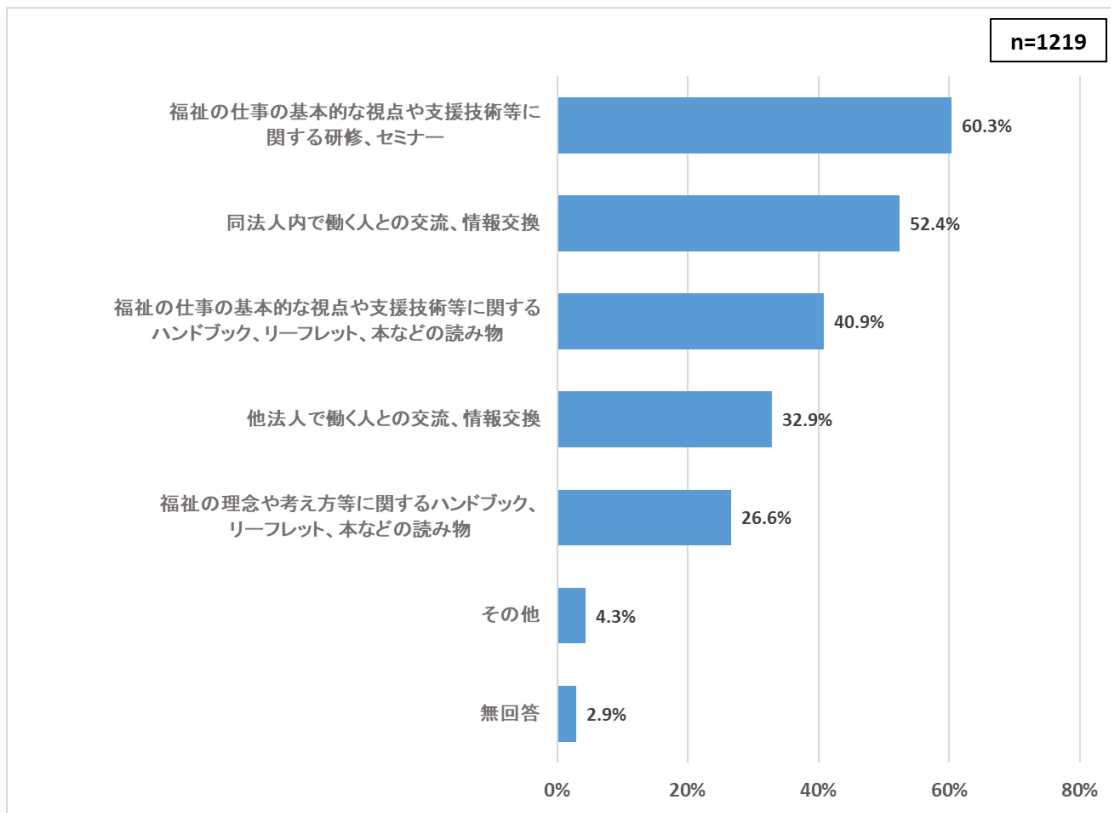


図 28 未経験者に役立つと思うツール

表 37 未経験者に役立つと思うツール

選択肢	回答数	%
福祉の仕事の基本的な視点や支援技術等に関する研修、セミナー	735	60.3%
同法人内で働く人との交流、情報交換	639	52.4%
福祉の仕事の基本的な視点や支援技術等に関するハンドブック、リーフレット、本などの読み物	498	40.9%
他法人で働く人との交流、情報交換	401	32.9%
福祉の理念や考え方等に関するハンドブック、リーフレット、本などの読み物	324	26.6%
その他	53	4.3%
無回答	35	2.9%

(8) ご自身の経験を振り返り、福祉職場で働き始める方（特に未経験の方）に向けて伝えたいことはありますか（自由回答）

主に【働く姿勢】、【やりがい】、【事前準備】、【身体・精神面】に分類されました。

【働く姿勢】では、「支援の幅は無敵大なので、自己研鑽が大事です」や、「利用者の立場からいろんなことを考えたら、支援しやすいと思います」といった回答がありました。

【やりがい】では、「仕事をするならやりがいのある職を選んだ方が毎日が楽しくなると思っています」や、「難しいことがたくさんありますが、自分自身の成長にもつながるためぜひ挑戦してみたい」といった回答がありました。

【事前準備】では、「出来るだけ多くの書籍を読み、体験や見学をする。」や、「職場見学をたくさんして、自分にあっているところに入ったほうが良い。基礎をしっかり学んでおくべき」といった回答がありました。

【身体・精神面】では、「自分自身を大切にすること」や、「体力をつけること。自分だけでやりきろうとは思わないこと」といった回答がありました。

表 38 福祉職場で働き始める方に向けて伝えたいこと（主な回答）

(1) 「働く姿勢」

- ・利用者の立場からいろんなことを考えたら、支援しやすいと思います。
- ・自分の価値観を押し付けない
- ・支援の幅は無敵大なので、自己研鑽が大事です
- ・取り組む気持ちがあれば、挑戦する価値のある仕事だと思う。
- ・専門的な知識も大切ですが、それ以上に職員自身の人間性が大切だと思います。
- ・失敗をおそれないでわからないことは進んで先輩方に聞いていく

(2) 「やりがい」

- ・難しいことがたくさんありますが、自分自身の成長にもつながるためぜひ挑戦してみたい
- ・仕事をするならやりがいのある職を選んだ方が毎日が楽しくなると思っています。
- ・学び続けることが出来る仕事であると思います
- ・大変なことも多いですが、やりがいや得ることが多いので利用者と一緒にたくさん関わり福祉を知っていくことが大切だと思います。

(3) 「事前準備」

- ・出来るだけ多くの書籍を読み、体験や見学をする。
- ・希望する職場の雰囲気を知ることは大切なので説明会等へ参加して情報を収集し、あとは、自分を信じて決断することだと思います。
- ・人により合う合わないの差があると思われるので研修やセミナーでの体験してみることが大事だと思う。
- ・職場見学をたくさんして、自分にあっているところに入ったほうが良い。基礎をしっかり学んでおくべき。

(4) 「身体・精神面」

- ・自分自身を大切にすること。
- ・人とコミュニケーションをとるのが苦手な方には難しい職場です。
- ・精神的、身体的に大変なこともありますがその大変さを上回るほどやりがいは他の仕事と比べ物にならないほどあると思います。自分にしかできない仕事が見つけれられるかもしれません。休みは不規則だったりしますが、逆に土日休みで混んでいる時に出かけるより有意義な休日を過ごせると思っています。
- ・体力をつけること。自分だけでやりきろうとは思わないこと。